

**（２）令和６年度介護報酬改定におけるLIFEの
見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の
更なる推進に資する調査研究事業
（結果概要）**

(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

1. 調査の目的

- 本事業では、令和6年度介護報酬改定において、より質の高い情報の収集・分析を可能とすることで科学的介護を推進する観点及び入力負担を軽減する観点から実施された①令和6年度介護報酬改定を踏まえた科学的介護情報システム（LIFE）への移行、②アウトカム評価の充実、③入力項目・データ提出タイミングの見直し、④フィードバックの見直しによる効果について調査を行った。
- また、令和5年度事業に引き続き、さらなるLIFEの利活用に向けて、LIFE 関連加算算定事業所（以下、算定事業所）におけるLIFE の利活用の実態及び課題の把握、LIFE 関連加算未算定事業所（以下、未算定事業所）におけるLIFE 導入への課題の把握を目的とした調査を行った。

2. 調査方法

A. アンケート調査・ヒアリング調査

LIFE関連加算算定事業所及び未算定事業所のそれぞれに対し、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

	母集団※1	抽出方法	発出数	回収数	回収率	有効回収率※4	調査期間・調査時点
算定事業所	64,165	層化無作為抽出※2	8,000	4,324	54.1%	54.1%	令和7年9月 ～令和7年11月 ※調査時点は7月1日時点
未算定事業所	53,912	層化無作為抽出※3	2,000	738	36.9%	36.9%	

※1 介護保険総合DBにおいて令和7年4月に請求実績のあった事業所を母集団とした。

※2 令和7年4月にLIFE関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がある事業所を対象としてサービス別に抽出した。

※3 令和7年4月にLIFE関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がない事業所を対象としてサービス別に抽出した。

※4 設問によっては未回答の事業所があるため、設問ごとに集計対象回答数は異なる。

B. 介護関連DB分析

LIFEに関連した加算の算定状況等を把握するため、介護保険総合データベースに登録されている、令和3年4月サービス提供分～令和7年4月サービス提供分の請求情報の分析を行った。

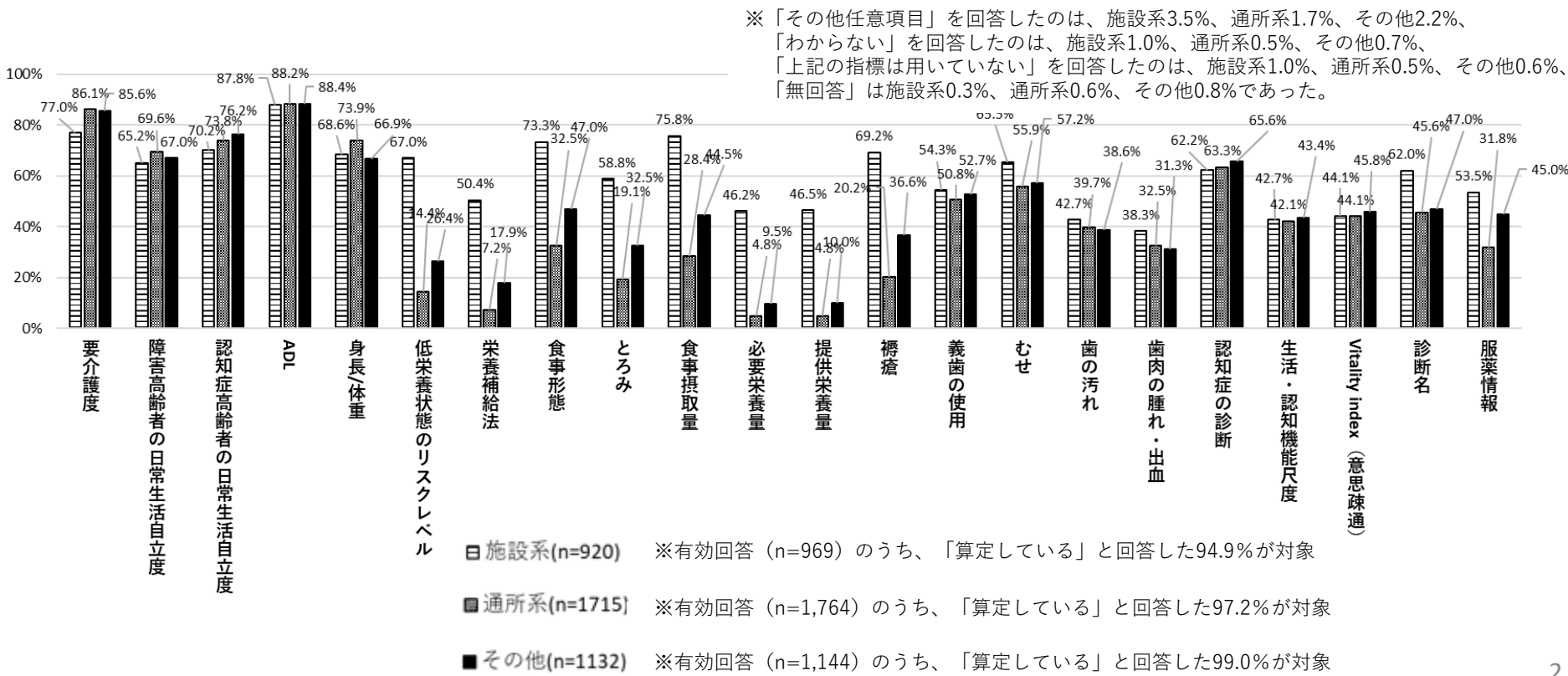
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所)

3. 調査結果概要

【科学的介護推進体制加算に含まれる項目のうち、利用者個別の事情に依らず、通常利用者の状態評価に頻繁に用いる項目 (算定事業所票:問1(4))】
 ○ いずれのサービス類型でも、「ADL」が最も多く、栄養系、褥瘡の項目については、施設系で状態変化に頻繁に用いている割合が高かった。

図表1 科学的介護推進体制加算に含まれる項目のうち、利用者個別の事情に依らず、通常利用者の状態評価に頻繁に用いる項目



(2) 令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

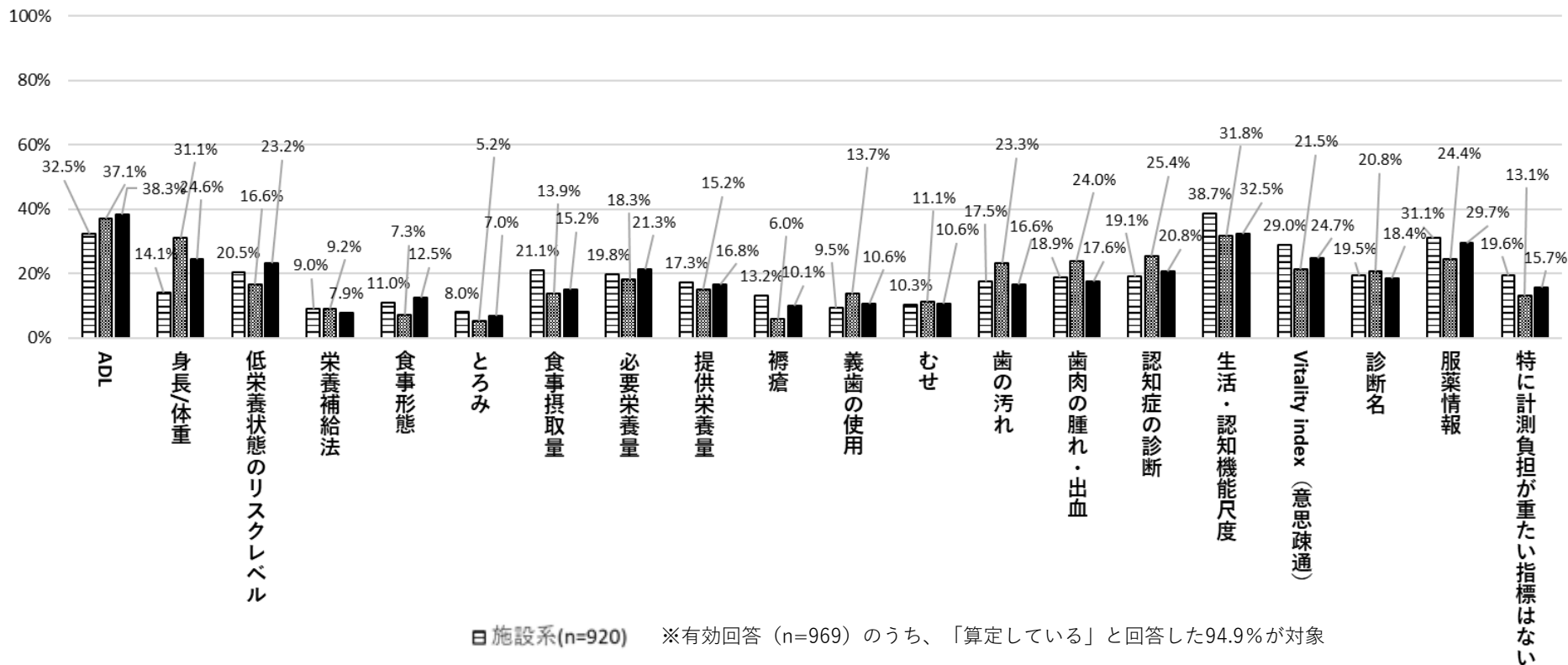
A. アンケート調査 (算定事業所)

【アセスメントの負担が大きい指標 (算定事業所票:問1(5))】

○ 施設系では「生活・認知機能尺度」が最も多く38.7%、通所系では「ADL」が最も多く37.1%であった。

図表2 科学的介護推進体制加算に含まれる項目について、アセスメントの負担が大きい指標

※「その他任意項目」を回答したのは、施設系1.1%、通所系1.7%、その他0.8%、「無回答」は施設系2.2%、通所系2.2%、その他2.2%であった。



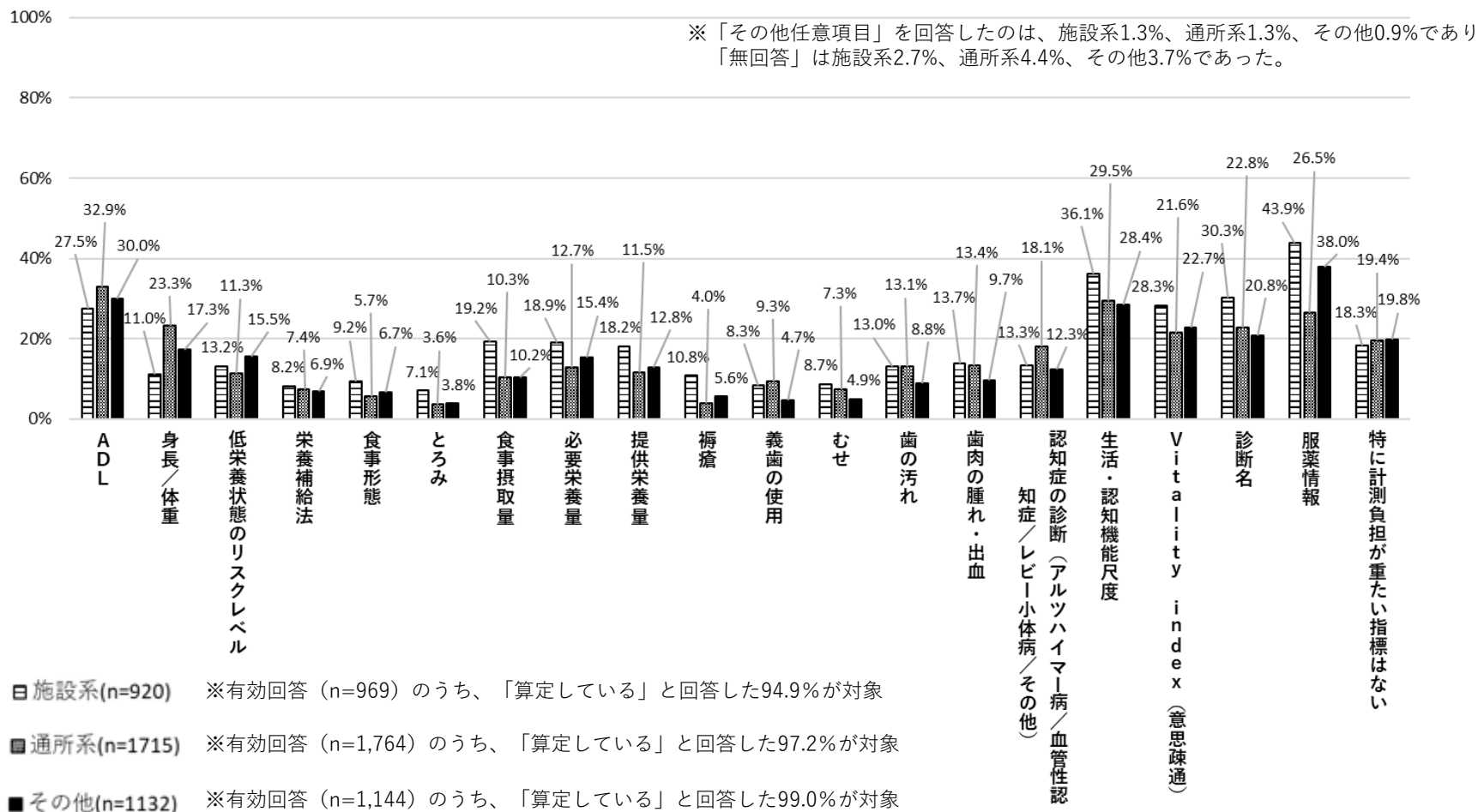
□ 施設系(n=920) ※有効回答 (n=969) のうち、「算定している」と回答した94.9%が対象
 ■ 通所系(n=1715) ※有効回答 (n=1,764) のうち、「算定している」と回答した97.2%が対象
 ■ その他(n=1132) ※有効回答 (n=1,144) のうち、「算定している」と回答した99.0%が対象

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所)

【入力の負担が大きい指標 (算定事業所票:問1(6))】
施設系では「服薬情報」が最も多く43.9%、通所系では「ADL」が最も多く32.9%であった。

図表3 科学的介護推進体制加算に含まれる項目について、入力の負担が大きい指標



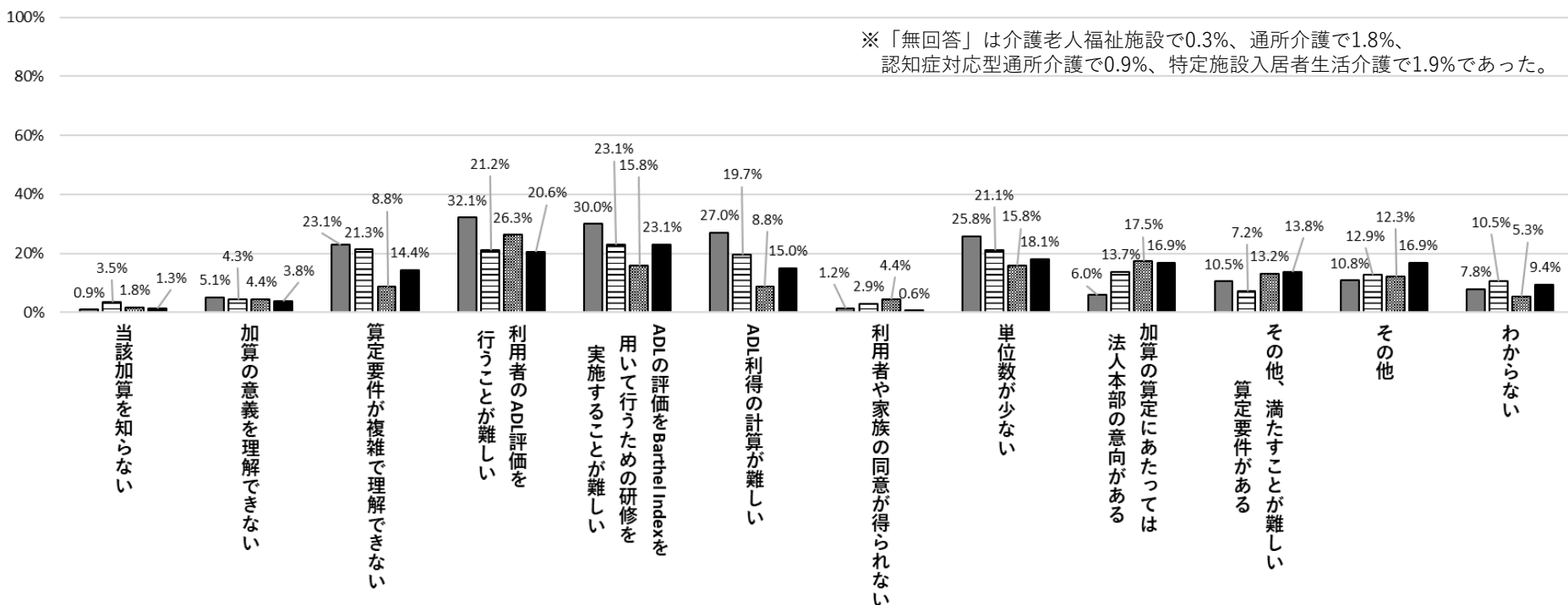
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所)

【ADL維持等加算を算定していない理由 (算定事業所票:問1(10))】

- ADL維持等加算を算定していない理由として、「利用者のADL評価を行うことが難しい」「ADLの評価をBarthel Indexを用いて行うための研修を実施することが難しい」「単位数が少ない」の割合が高かった。

図表4 ADL維持等加算を算定していない理由



■ 介護老人福祉施設 (地域密着含む) (n=333)

▨ 通所介護(n=839)

▤ 認知症対応型通所介護(n=114)

■ 特定施設入居者生活介護 (地域密着、介護予防含む) (n=160)

※有効回答 (n=475) のうち、「算定していない」と回答した70.1%が対象

※有効回答 (n=1,357) のうち、「算定していない」と回答した61.8%が対象

※有効回答 (n=163) のうち、「算定していない」と回答した69.9%が対象

※有効回答 (n=268) のうち、「算定していない」と回答した59.7%が対象

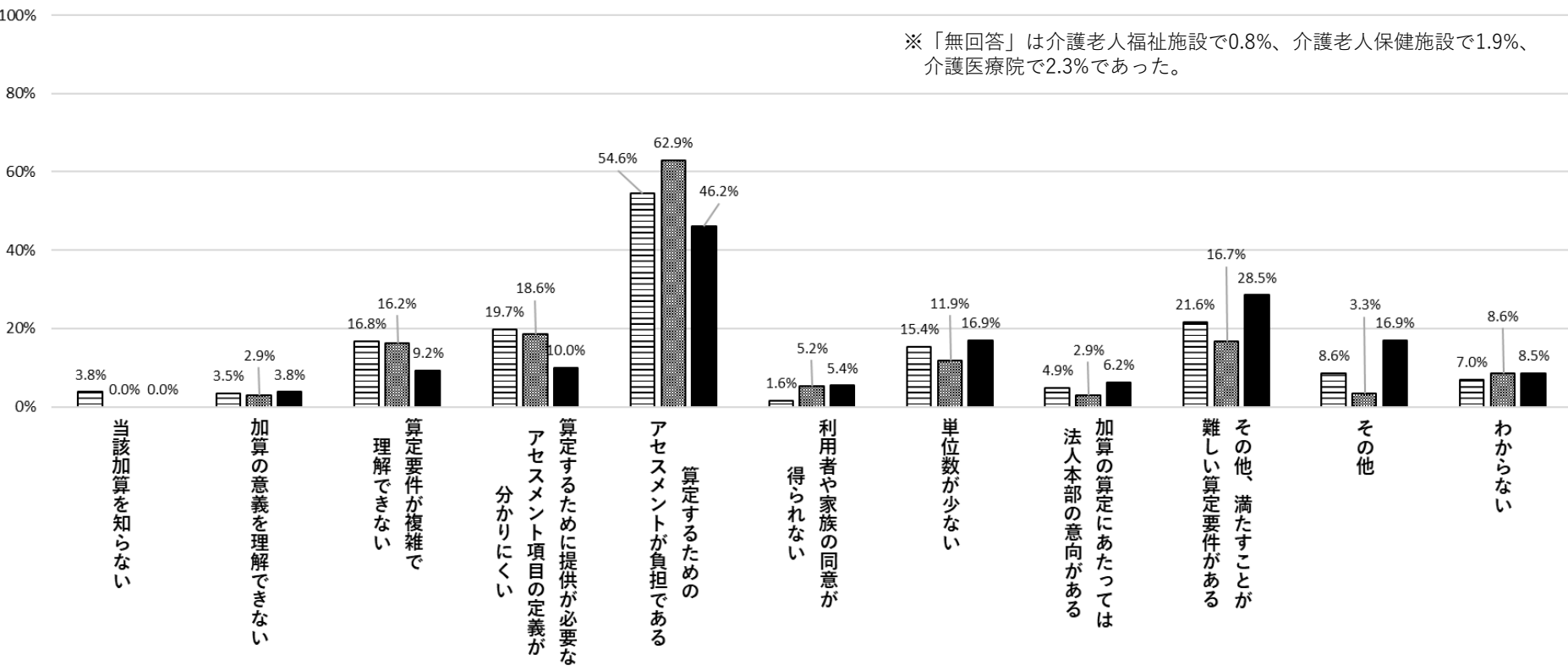
(2) 令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所)

【自立支援促進加算を算定していない理由 (算定事業所票:問1(12))】
 ○ 自立支援促進加算を算定していない理由として、いずれのサービスでも最も多かったのは「算定するためのアセスメントが負担である」であり、他に「その他、満たすことが難しい算定要件がある」が理由として挙がっていた。

図表5 自立支援促進加算を算定していない理由

※「無回答」は介護老人福祉施設で0.8%、介護老人保健施設で1.9%、介護医療院で2.3%であった。



■ 介護老人福祉施設 (地域密着含む) (n=370)
 ■ 介護老人保健施設 (n=210)
 ■ 介護医療院 (n=130)

※有効回答 (n=475) のうち、「算定していない」と回答した77.9%が対象
 ※有効回答 (n=295) のうち、「算定していない」と回答した71.2%が対象
 ※有効回答 (n=199) のうち、「算定していない」と回答した65.3%が対象

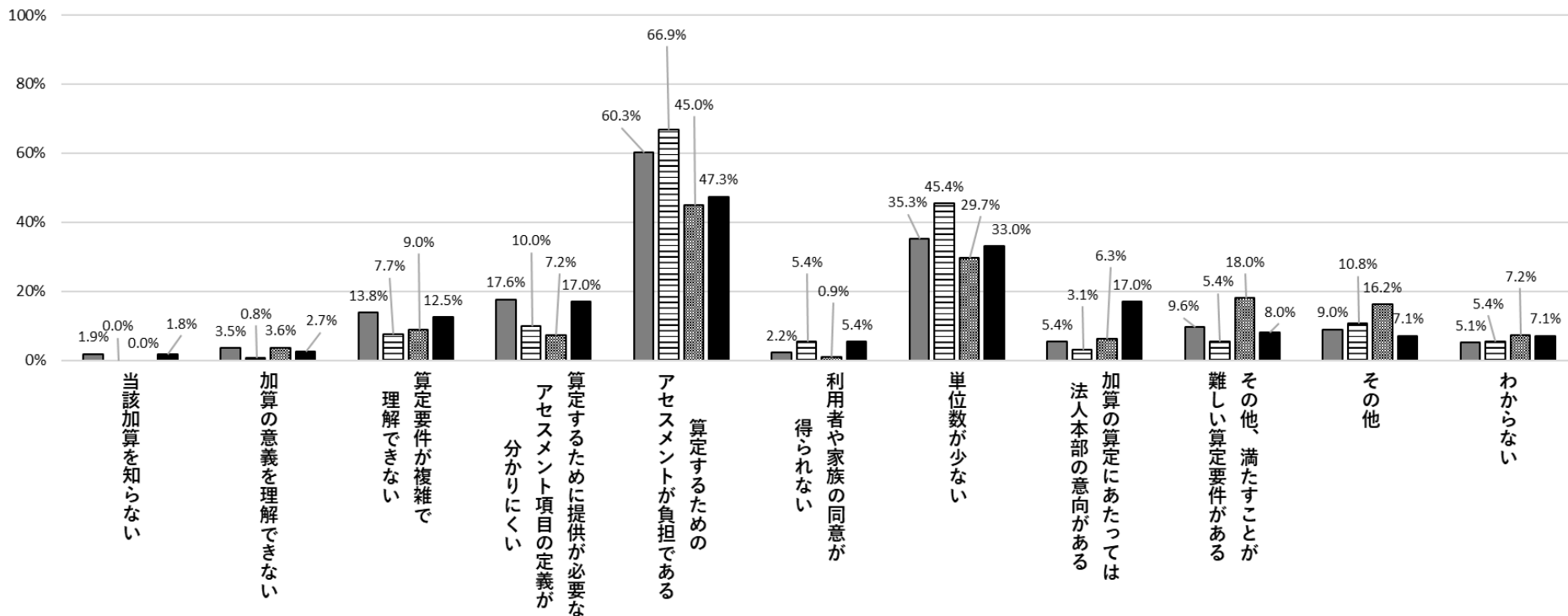
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A.アンケート調査（算定事業所）

【排せつ支援加算を算定していない理由（算定事業所票:問1(14)）】

- 排せつ支援加算を算定していない理由として、いずれのサービスでも最も多かったのは「算定するためのアセスメントが負担である」であり、他に「単位数が少ない」という理由も挙がっていた。

図表6 排せつ支援加算を算定していない理由



■ 介護老人福祉施設（地域密着含む）(n=312)

▨ 介護老人保健施設(n=130)

▤ 介護医療院(n=111)

■ 看護小規模多機能型居宅介護(n=112)

※有効回答（n=475）のうち、「算定していない」と回答した65.7%が対象

※有効回答（n=295）のうち、「算定していない」と回答した44.1%が対象

※有効回答（n=199）のうち、「算定していない」と回答した55.8%が対象

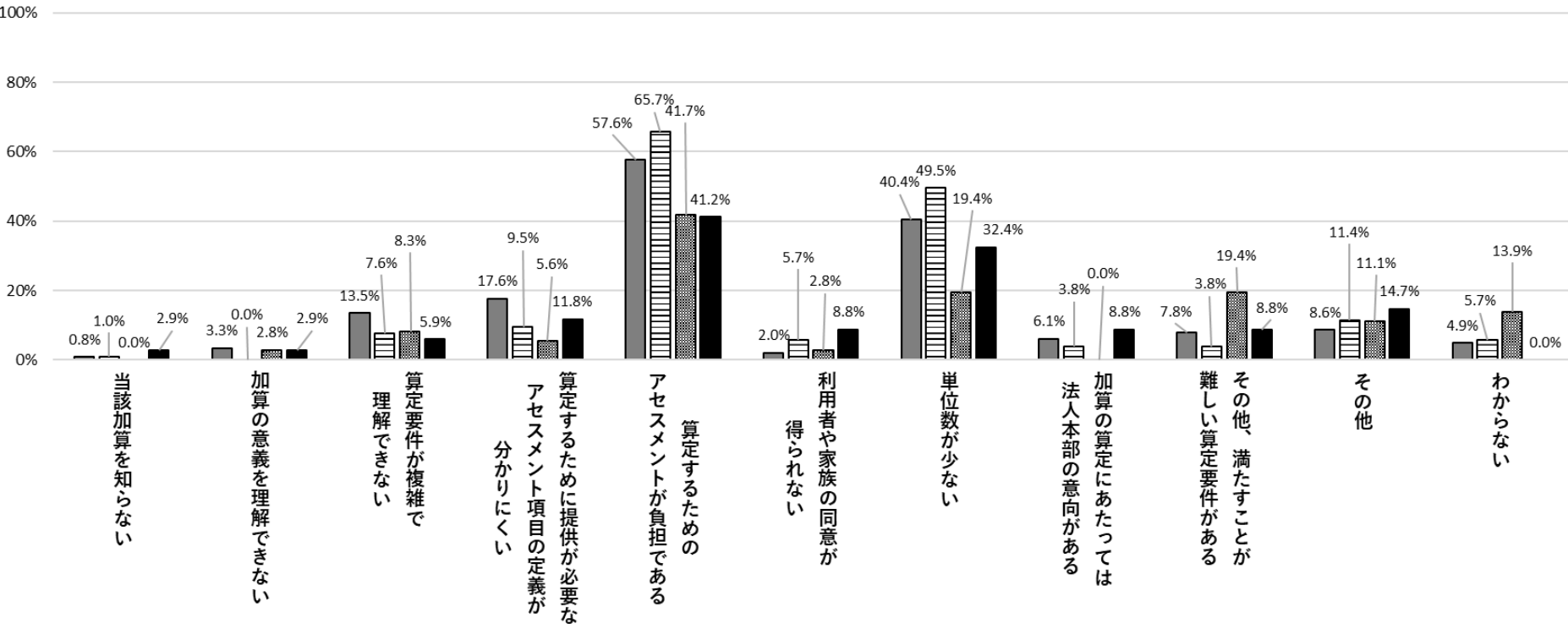
※有効回答（n=179）のうち、「算定していない」と回答した62.6%が対象

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所)

【褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理を算定していない理由 (算定事業所票:問1(16))】
 ○ 褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理を算定していない理由として、いずれのサービスでも最も多かったのは「算定するためのアセスメントが負担である」であり、他に「単位数が少ない」という理由も挙がっていた。

図表7 褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理を算定していない理由



- 介護老人福祉施設 (地域密着含む) (n=245) ※有効回答 (n=475) のうち、「算定していない」と回答した51.6%が対象
- 介護老人保健施設 (n=105) ※有効回答 (n=295) のうち、「算定していない」と回答した35.6%が対象
- ▣ 介護医療院 (n=36) ※有効回答 (n=199) のうち、「算定していない」と回答した18.1%が対象
- 看護小規模多機能型居宅介護 (n=34) ※有効回答 (n=179) のうち、「算定していない」と回答した19.0%が対象

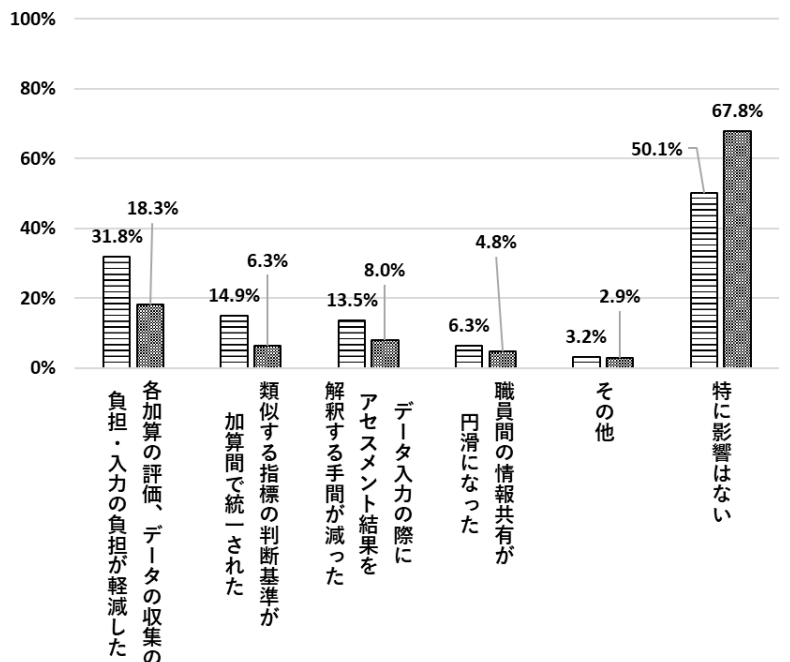
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査（算定事業所）

【重複項目が統一されたことで生じた効果（算定事業所票:問2(1)）】

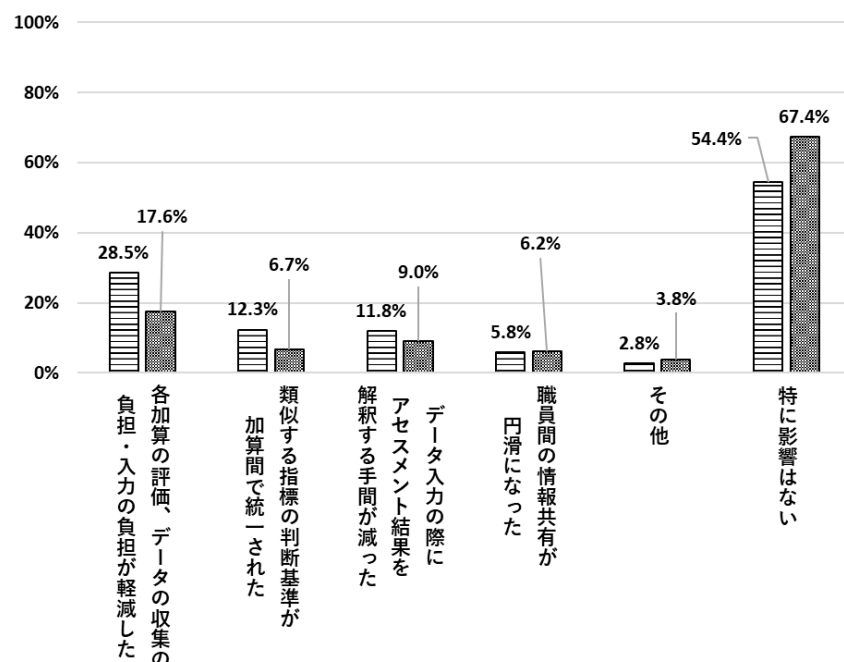
- 重複項目が統一されたことの効果として、「特に影響はない」とする意見が多く見られた。
- 重複項目の統一を行った加算では、「各加算の評価、データの収集の負担・入力負担が軽減した」という意見も一定認められた。

図表8 重複項目が統一されたことによって生じた効果（排せつ支援加算の算定状況別）



□排せつ支援加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定(n=443) ■算定していない(n=665)

図表9 重複項目が統一されたことによって生じた効果（褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理の算定状況別）



□褥瘡マネジメント加算Ⅰ、Ⅱまたは褥瘡対策指導管理Ⅰ、Ⅱのいずれかを算定(n=608)

■算定していない(n=420)

※排せつ支援加算の算定対象サービスのうち、当該加算を「算定している」または「算定していない」と回答した事業所を集計対象とした。
 （介護老人福祉施設、地域密着型介護福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、複合型サービス）

※褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理の算定対象サービスのうち、当該加算を「算定している」または「算定していない」と回答した事業所を集計対象とした。
 （介護老人福祉施設、地域密着型介護福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、複合型サービス）

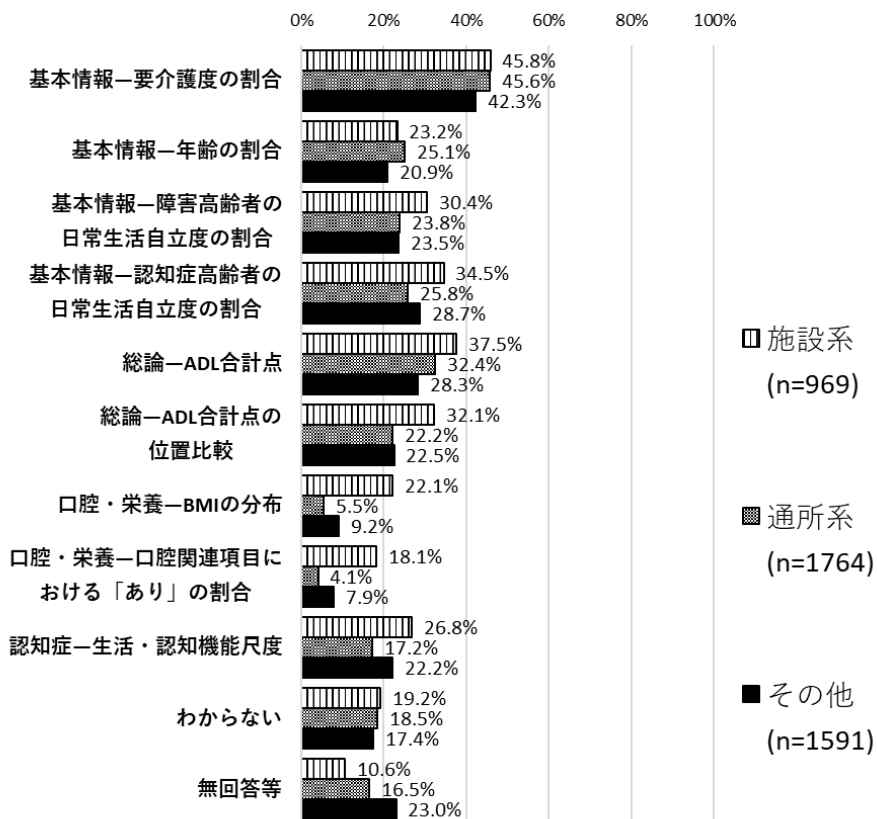
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A.アンケート調査（算定事業所）

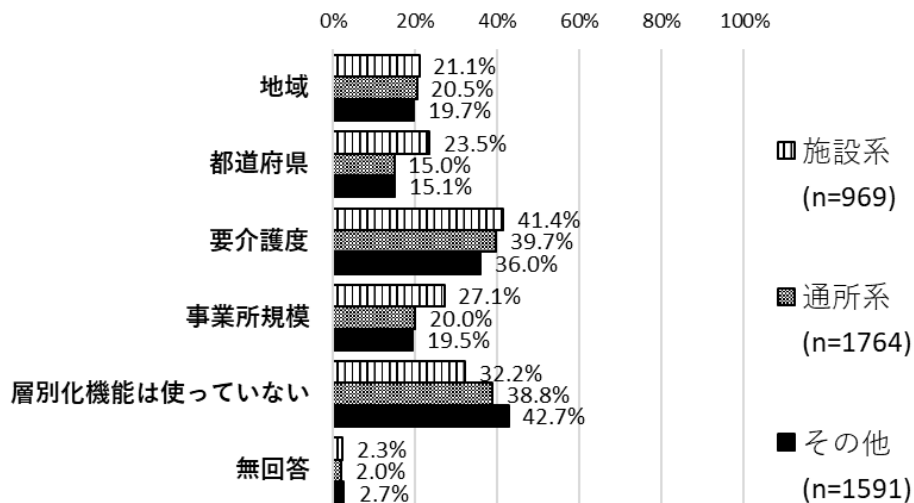
【科学的介護推進体制加算の事業所フィードバックについて、介護ケア向上のため頻繁に閲覧・確認するグラフ、利用者の介護のケア状況の把握に有用と感じる層別化項目（算定事業所票:問3(6)(7)）】

- 事業所フィードバックにて頻繁に閲覧・確認するグラフは、いずれのサービス類型でも、「基本情報—要介護度の割合」が最も多かった。
- 事業所フィードバックのグラフを見る際、有用と感じる層別化項目は、いずれのサービス類型でも、「要介護度」が最も多かった。

図表10 科学的介護推進体制加算の事業所フィードバックについて、介護ケア向上のため頻繁に閲覧・確認するグラフ



図表11 科学的介護推進体制加算の事業所フィードバックのグラフを見る際、利用者の介護のケア状況の把握に有用と感じる層別化項目



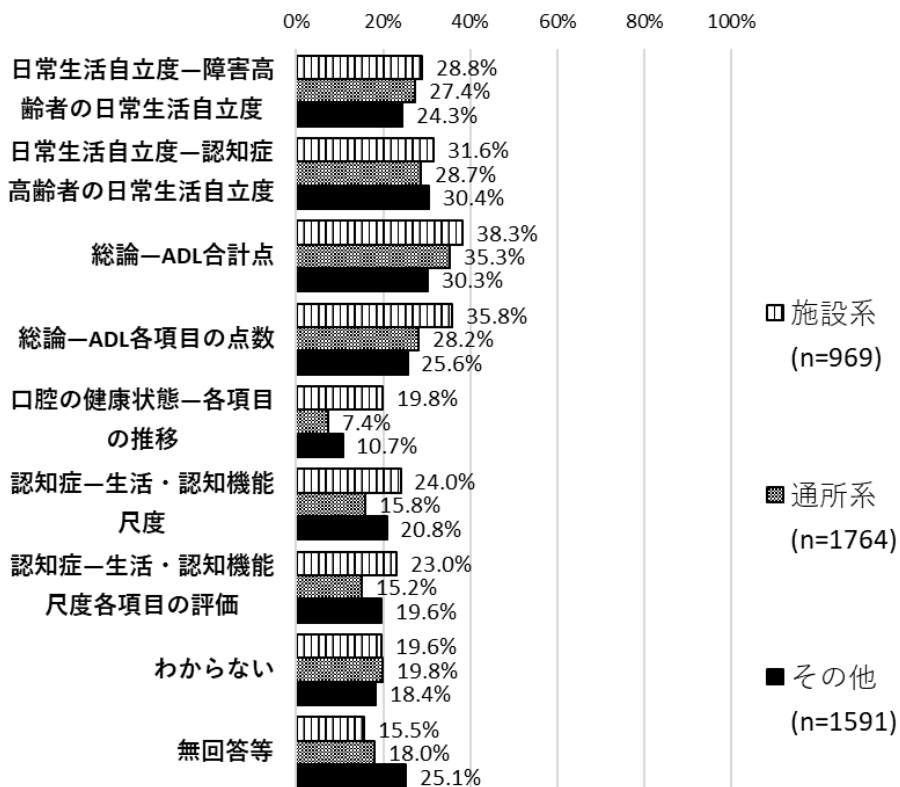
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A.アンケート調査（算定事業所）

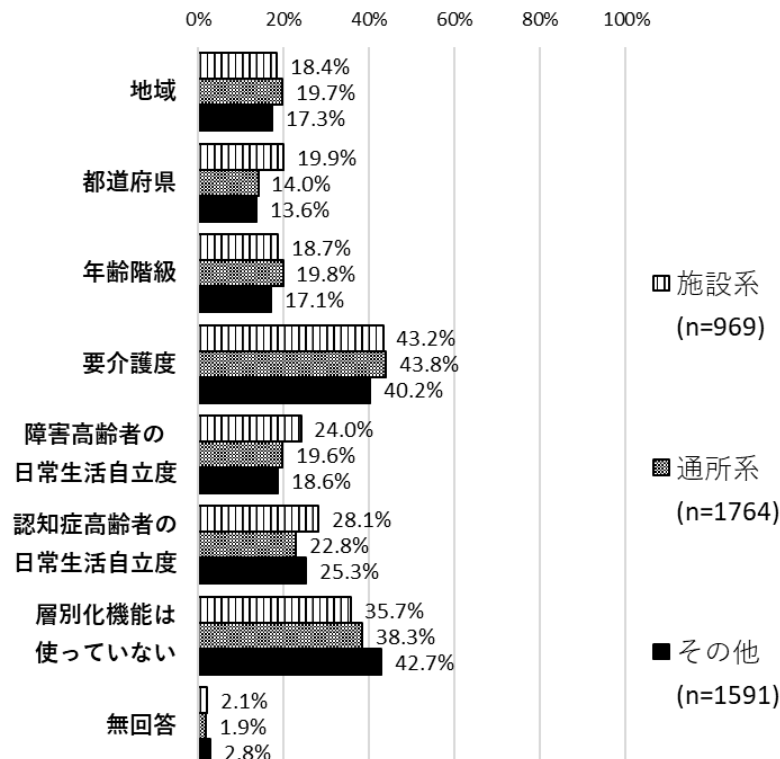
【科学的介護推進体制加算の利用者フィードバックについて、介護ケア向上のため頻繁に閲覧・確認するグラフ、利用者の介護のケア状況の把握に有用と感じる層別化項目（算定事業所票:問3(8)(9)）】

- 利用者フィードバックにて頻繁に閲覧・確認するグラフは、いずれのサービス類型でも、「総論—ADL合計点」が最も多かった。
- 利用者フィードバックのグラフを見る際、有用と感じる層別化項目は、いずれのサービス類型でも、「要介護度」が最も多かった。

図表12 科学的介護推進体制加算の利用者フィードバックについて、介護ケア向上のため頻繁に閲覧・確認するグラフ



図表13 科学的介護推進体制加算の利用者フィードバックのグラフを見る際、利用者の介護ケア状況の把握に有用と感じる層別化項目



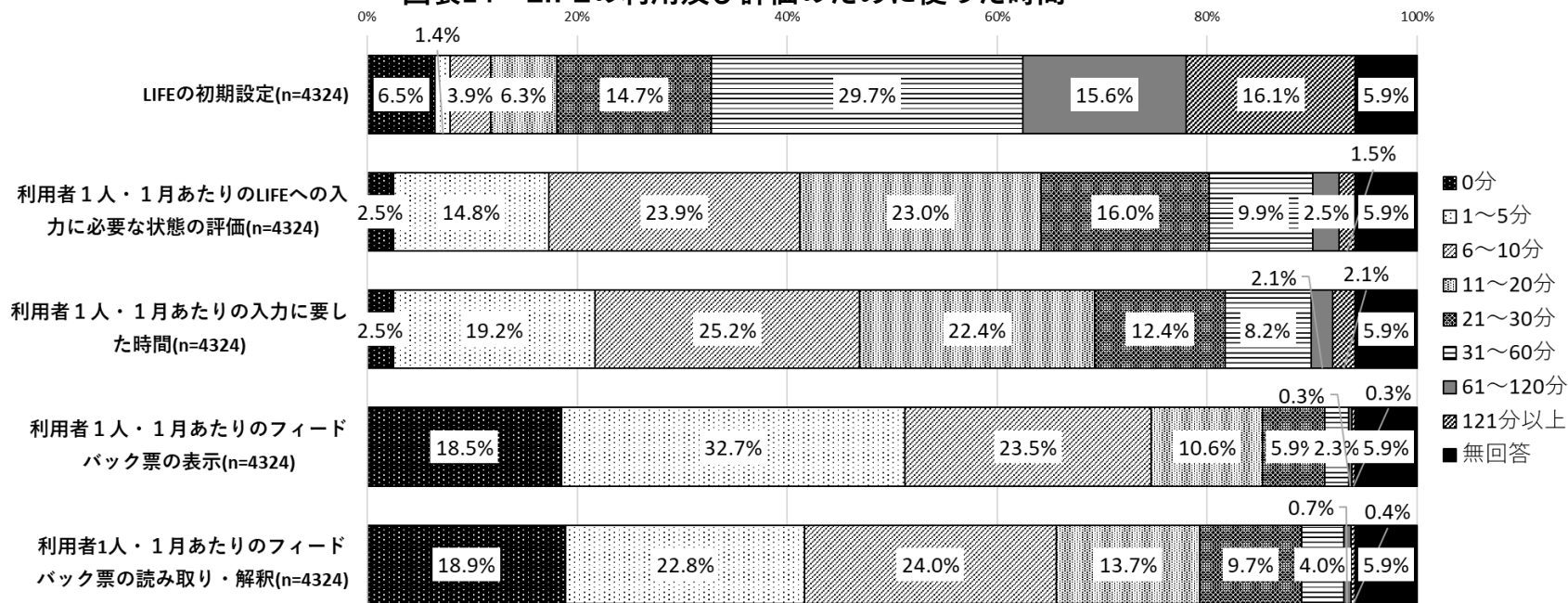
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査（算定事業所）

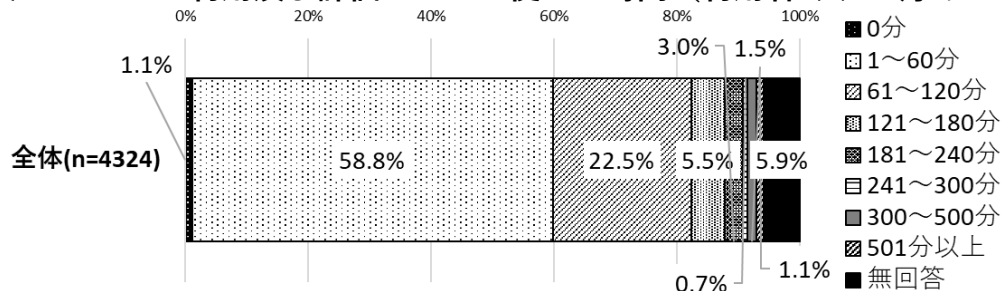
【LIFEの利用及び評価のために使った時間（算定事業所票:問4(2)）】

- 初期設定に使った時間で最も回答が多かったものは「31～60分」で中央値は60分であった。
- LIFEの利用及び評価のために使った時間（利用者1人・1月当たり合計）の中央値は50分であった。詳細の内訳をみると、LIFEへの入力に必要な状態の評価の時間が長い傾向であった。

図表14 LIFEの利用及び評価のために使った時間



図表15 LIFEの利用及び評価のために使った時間（利用者1人・1月あたり合計）

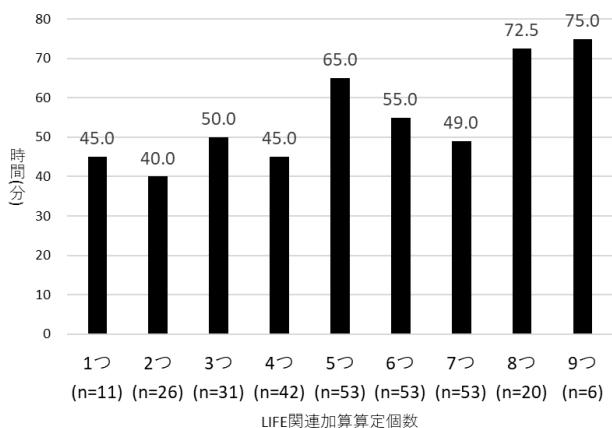


(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

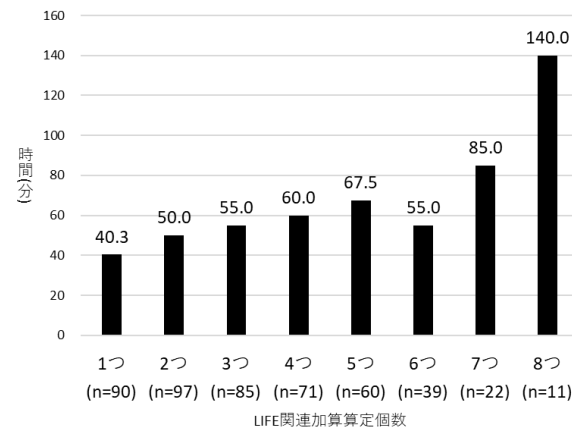
A. アンケート調査（算定事業所） × B. 介護関連DB分析

- LIFE関連加算の算定個数と、評価にかかった時間（1人あたり、初期設定は除く）について、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、介護医療院のいずれでも、算定個数が増加するにつれて評価にかかった時間も増加する傾向がみられた。

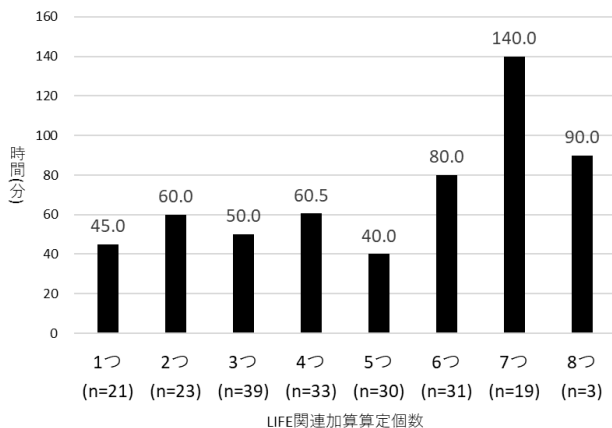
図表16 LIFE関連加算の算定個数と、評価にかかった時間の中央値（1人あたり、初期設定は除く）（介護老人保健施設）



図表17 LIFE関連加算の算定個数と、評価にかかった時間の中央値（1人あたり、初期設定は除く）（介護老人福祉施設）



図表18 LIFE関連加算の算定個数と、評価にかかった時間の中央値（1人あたり、初期設定は除く）（介護医療院）



算定個数の計上対象とした加算の一覧

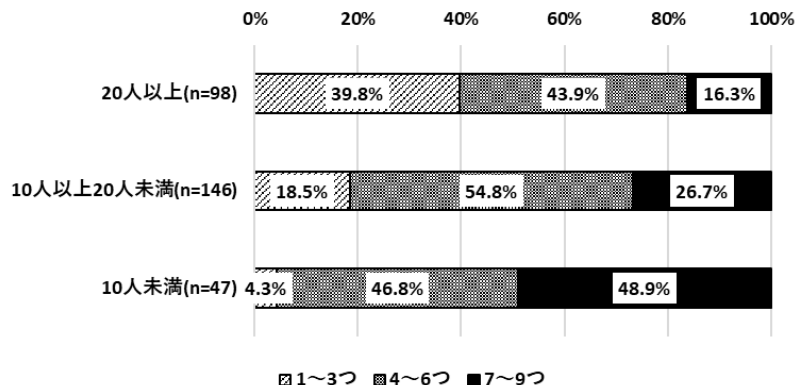
介護老人保健施設	科学的介護推進体制加算	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算	褥瘡マネジメント	排せつ支援加算	自立支援促進加算	かかりつけ医連携調整加算	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	短期集中リハビリテーション実施加算
介護老人福祉施設	科学的介護推進体制加算	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算	褥瘡マネジメント	排せつ支援加算	自立支援促進加算	ADL維持等加算	個別機能訓練加算	
介護医療院	科学的介護推進体制加算	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算	褥瘡対策指導管理	排せつ支援加算	自立支援促進加算	薬剤管理指導情報活用加算	理学療法（注7）、作業療法（注7）、言語聴覚療法（注5）	

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (算定事業所) × B. 介護関連DB分析

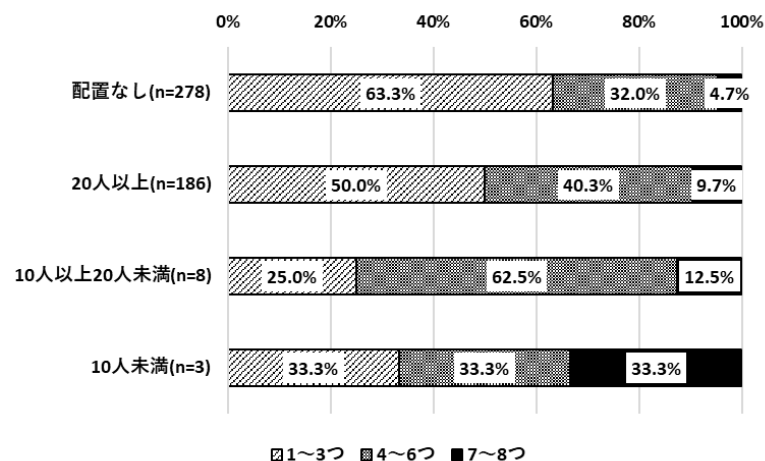
- リハビリテーション職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）常勤換算人数1人あたりの利用者数と事業所のLIFE関連加算の算定個数について関連を調査した。介護老人保健施設、介護福祉施設においては、リハビリテーション職員数が充実しているほどLIFE関連加算の算定個数が多い傾向が見られた。

図表19 リハビリテーション職員1人あたりの利用者数とLIFE関連加算の算定個数（介護老人保健施設）

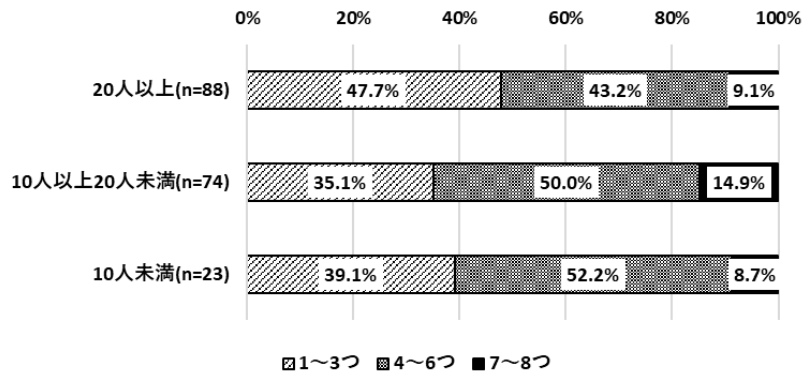


※介護老人保健施設(n=295)のうち、「配置なし」と回答した4件(1.4%)は集計対象外とした

図表20 リハビリテーション職員1人あたりの利用者数とLIFE関連加算の算定個数（介護老人福祉施設）



図表21 リハビリテーション職員1人あたりの利用者数とLIFE関連加算の算定個数（介護医療院）



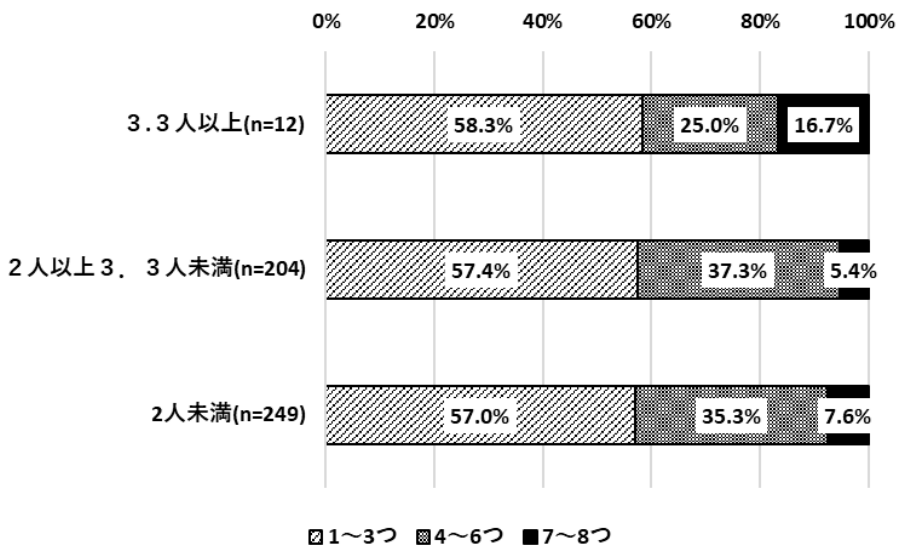
※介護老人保健施設(n=199)のうち、「配置なし」と回答した14件(7.0%)は集計対象外とした

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査（算定事業所） × B. 介護関連DB分析

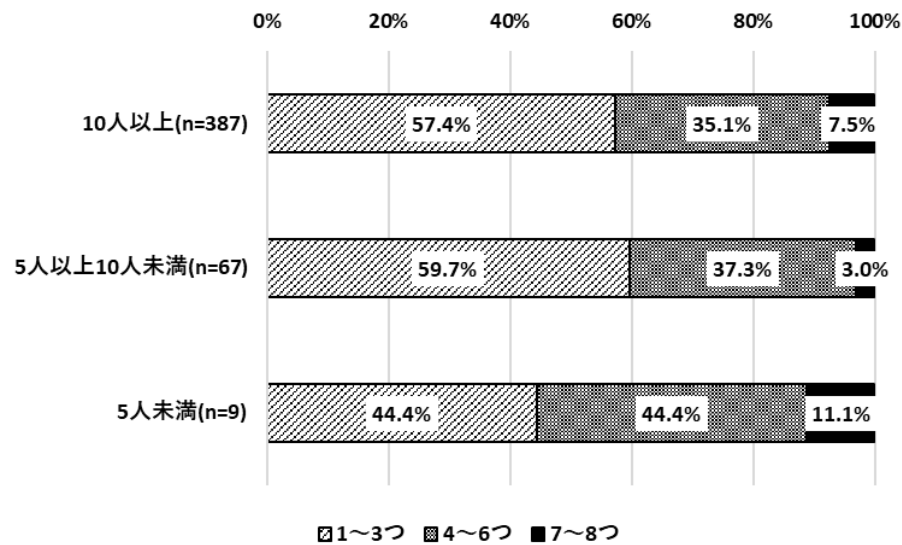
- 介護職員（介護福祉士含む）、看護職員の常勤換算人数1人あたりの利用者数と事業所のLIFE関連加算の加算算定個数の関連を、地域密着型を含む介護老人福祉施設において示した。
- 介護職員、看護職員の職員数とLIFE関連加算の算定個数については、職員1人あたりの利用者数との関連は認めなかった。

図表22 介護職員1人あたりの利用者数とLIFE関連加算の算定個数（介護老人福祉施設）



※介護老人福祉施設(n=475)のうち、無回答9件(1.9%)、「配置なし」と回答した1件(0.2%)は集計対象外とした

図表23 看護職員1人あたりの利用者数とLIFE関連加算の算定個数（介護老人福祉施設）



※介護老人福祉施設(n=475)のうち、無回答9件(1.9%)、「配置なし」と回答した3件(0.6%)は集計対象外とした

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

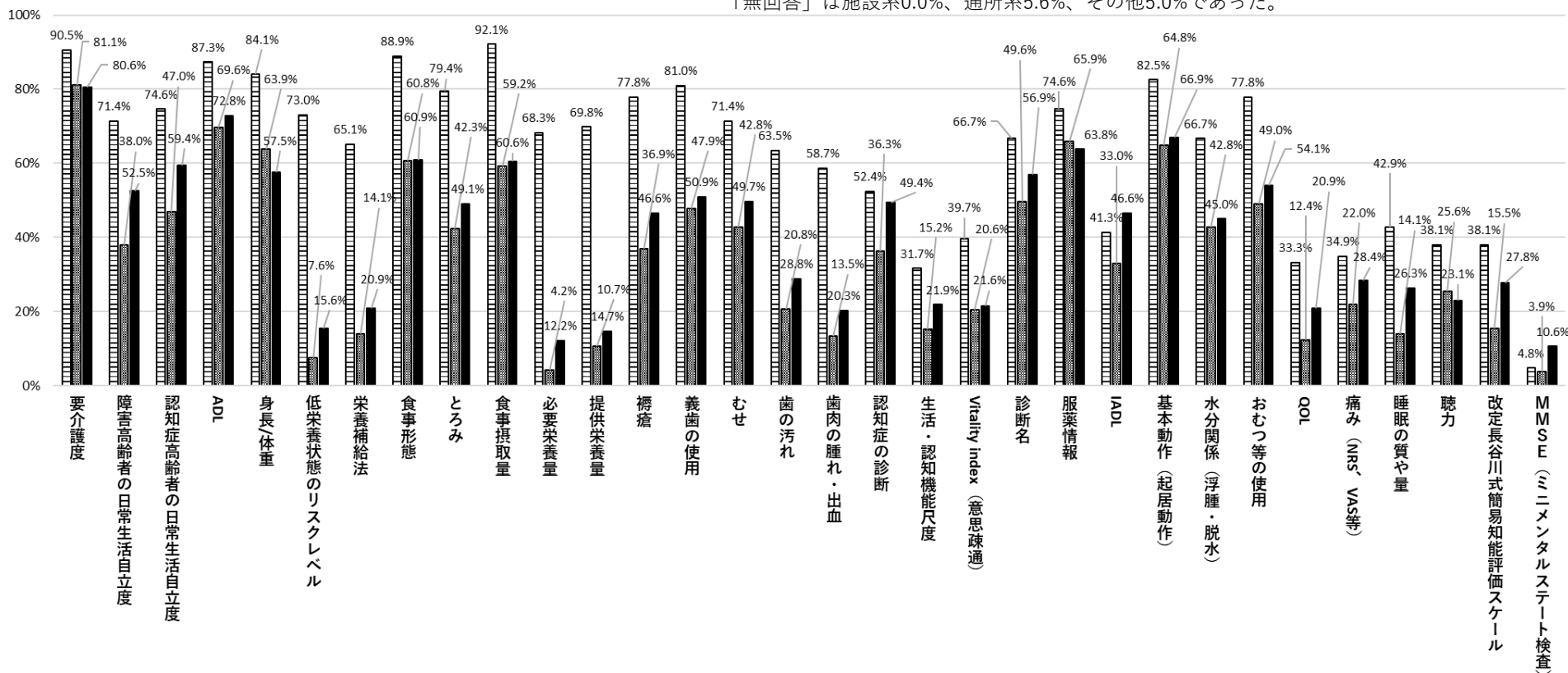
A.アンケート調査 (未算定事業所)

【利用者状態の評価に際し、現在計測・収集している項目 (未算定事業所票:問2(5))】

○ 最も多かったものは、施設系は「食事摂取量」で92.1%、通所系は「要介護度」を除くと「ADL」で69.6%であった。

図表24 利用者状態の評価に際し、現在計測・収集している項目

※「その他」を回答したのは、施設系1.6%、通所系2.5%、その他1.6%、
「特に収集している指標はない」を回答したのは、施設系6.3%、通所系5.1%、その他9.7%、
「無回答」は施設系0.0%、通所系5.6%、その他5.0%であった。



目 施設系(n=63) ■ 通所系(n=355) ■ その他(n=320)

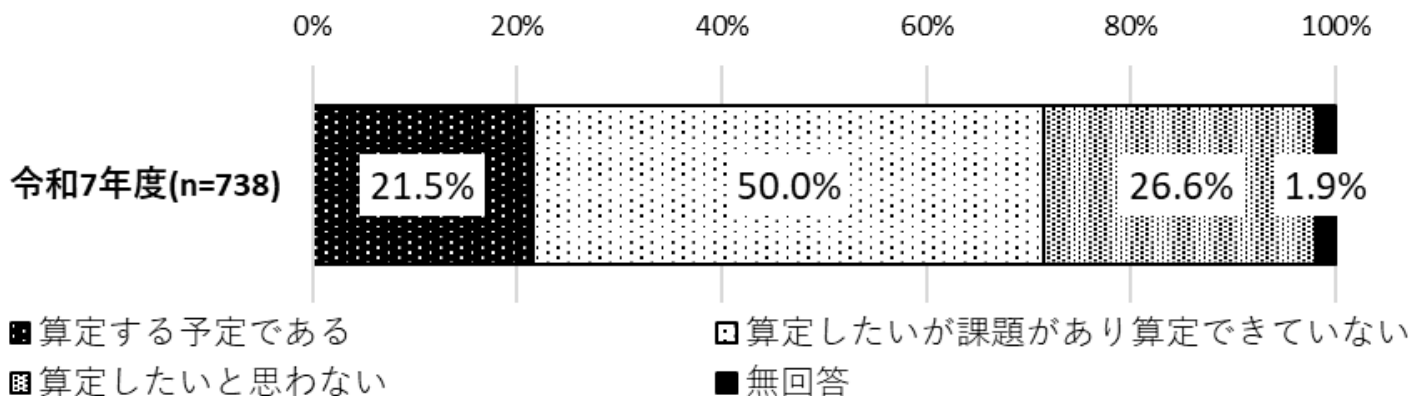
(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査 (未算定事業所)

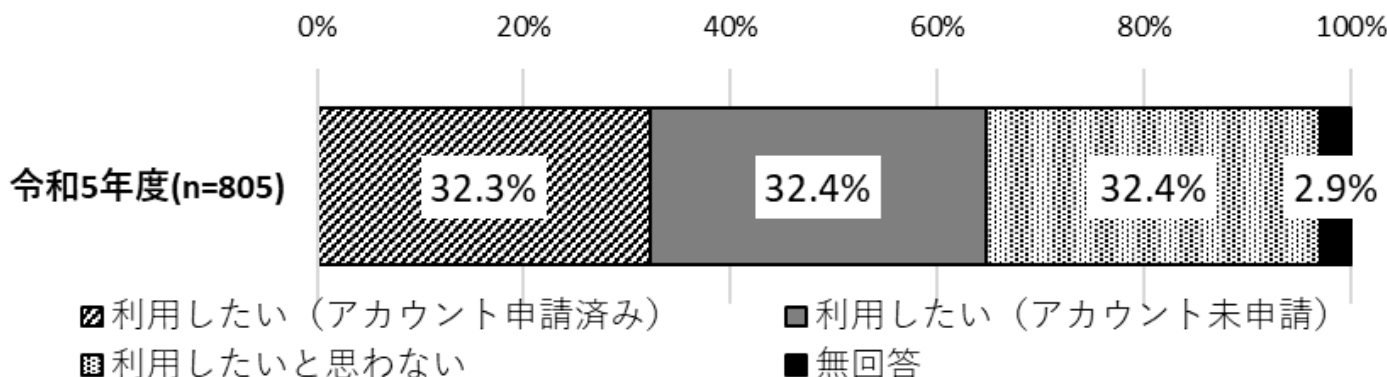
【今後のLIFE関連加算の算定意向 (未算定事業所票:問5(1))】

○ 令和7年度調査の、今後のLIFE関連加算の算定意向で最も回答が多かったものは「算定したいが課題があり算定できていない」で、次に多かったものは「算定したいと思わない」であった。令和5年度調査と質問項目が異なるが、LIFE関連加算の算定意思のない事業所は減少していると推察される。

図表25 今後のLIFE関連加算の算定意向



図表26 (令和5年度)今後のLIFE関連加算の算定意向



※令和5年度の結果は、第240回社会保障審議会介護給付費分科会「(4) LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業」において収集した結果に基づく。

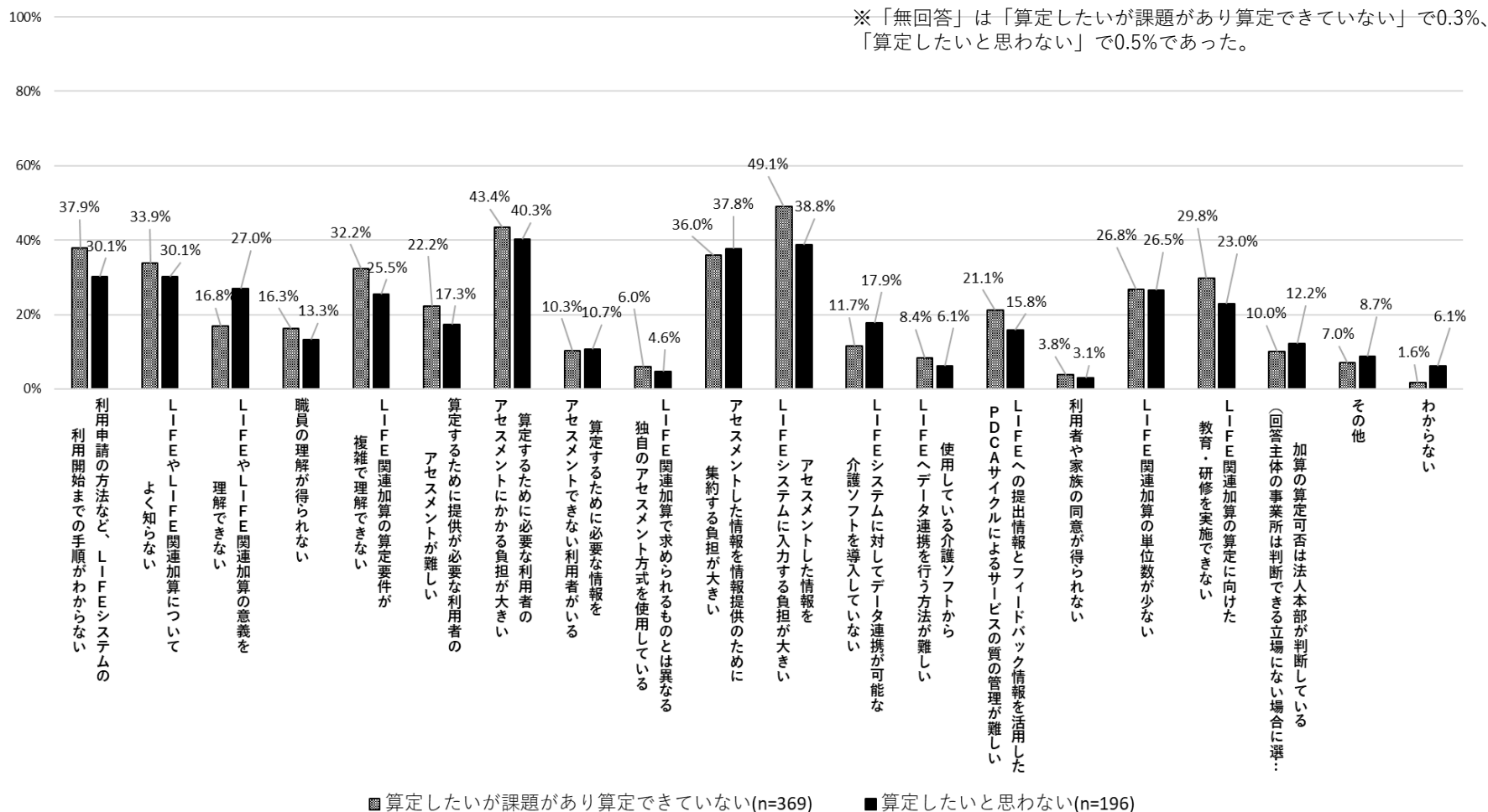
(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A.アンケート調査 (未算定事業所)

【今後のLIFE関連加算の算定意向 (未算定事業所票:問5(1)) × LIFEを利用しない理由 (未算定事業所票:問5(2))】

○ LIFE関連加算の算定意向別での分析の結果、いずれも利用者のアセスメント負担、LIFEへの入力負担、という事がLIFEを利用しない理由として多く挙げられていた。

図表27 LIFEを利用しない理由(今後のLIFE関連加算の算定意向別)



(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. ヒアリング調査（算定事業所）

- アンケート回答内容を踏まえ、LIFEの継続的な利用によって創出されるアウトカムの具体的な事例やフィードバック機能の活用実態、令和6年度の介護報酬改定の影響の把握を目的にLIFE関連加算算定事業所にヒアリング調査を実施した。
- LIFEの導入によって、アセスメント項目の統一化や管理の効率化、評価漏れの防止といった効果がみられた一方で、フィードバック機能から得た情報を日々のケアに結びつけるまで至っていないと回答した事業所が多かった。
- 現状の層別化機能で得られるフィードバック情報に加え、日々のケアの内容や人員配置など踏み込んだ情報が確認できた場合にはより有用であるとの意見があった。

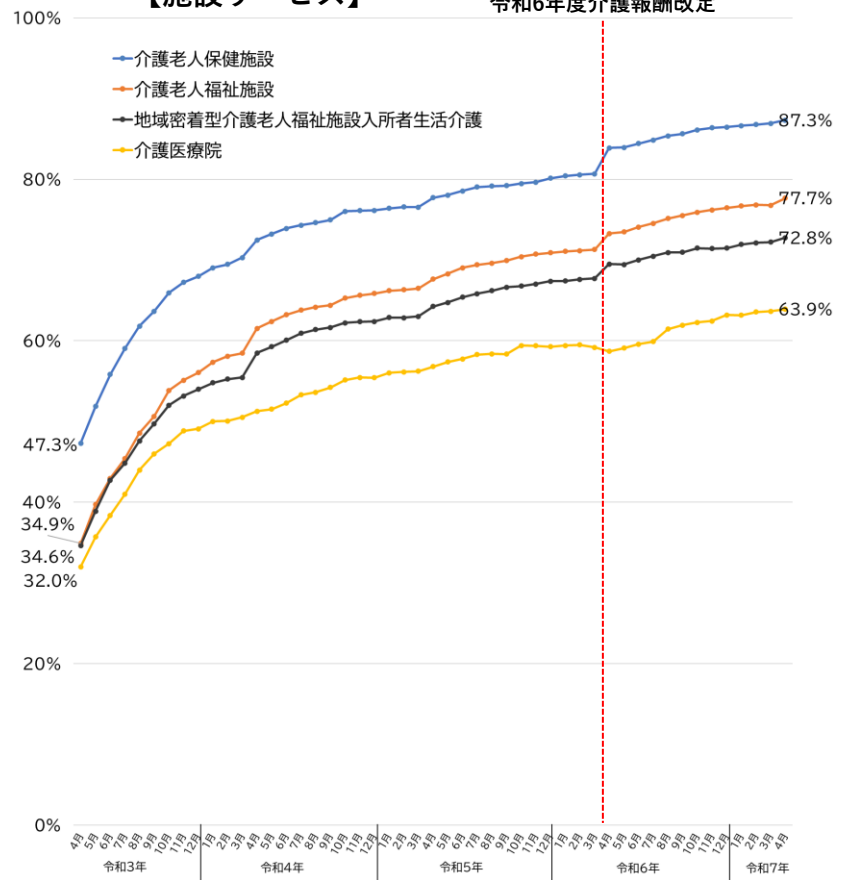
論点	主なご意見
LIFEの利活用事例	<ul style="list-style-type: none">・ 2021年4月のLIFE運用開始時期からLIFEを導入している。LIFE導入前は独自に紙媒体で評価・管理していた褥瘡・排せつに関する情報をLIFEで管理するようになった。LIFE導入の効果としては、加算算定のために定期的に更新すべき時期が定められているため、評価忘れや漏れがなくなったこと、一部の利用者で排せつの回数や時間を見直すきっかけになったことが挙げられる。（介護老人福祉施設）・ LIFEで管理した項目は利用者家族に印刷し、送付しており、利用者家族の希望に応じて身体状況や日々のケアの説明に活用する事例もある。（介護老人福祉施設）・ LIFEの服薬管理の項目は内容を詳細に記載する必要があるため、LIFE導入前より処方薬の記載のみならず、背景疾患の状況まで詳細をアセスメントするようになった。（認知症対応型通所介護）・ LIFEで収集した情報を活用して介護計画を立案しており、利用者がどのような状態になれば全介助から一部介助へ移行を目指すことができるのかといった目標が具体的に設定できるようになった。（訪問リハビリテーション）
LIFE利活用の課題	<ul style="list-style-type: none">・ 科学的介護推進体制加算、ADL維持等加算、自立支援促進加算、排せつ支援加算、褥瘡マネジメント加算を算定しているが、事業所内ではLIFEとは別の介護情報記録システムに日々の介護記録を入力し、LIFE関連加算算定のためにLIFEに別途必要情報を入力している状況である。介護情報記録システムとLIFEの自動連携機能も認識しているが、契約アカウント数やコストの観点から導入には至っていない。（介護老人福祉施設）・ フィードバック機能は現状有用な使用までは至っていない。LIFEは一部の専門職・管理職のみが使用していることと、フィードバック機能を利用してどのように日々のケアに反映するとよいのかまではわからないため、活用できているとまでは言えない。（看護小規模多機能型居宅介護）・ 日々提供しているケアの内容や人員配置が他の施設と比較したときに妥当かどうかを確認できる情報が得られる場合には積極的にフィードバック機能を利用したいと考える。（認知症対応型通所介護）
令和6年度介護報酬改定の影響	<ul style="list-style-type: none">・ バージョンアップの作業時の設定に一時負担があったが、新LIFEの運用が開始されたことによる使用感の変化は感じていない。（介護老人福祉施設）

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

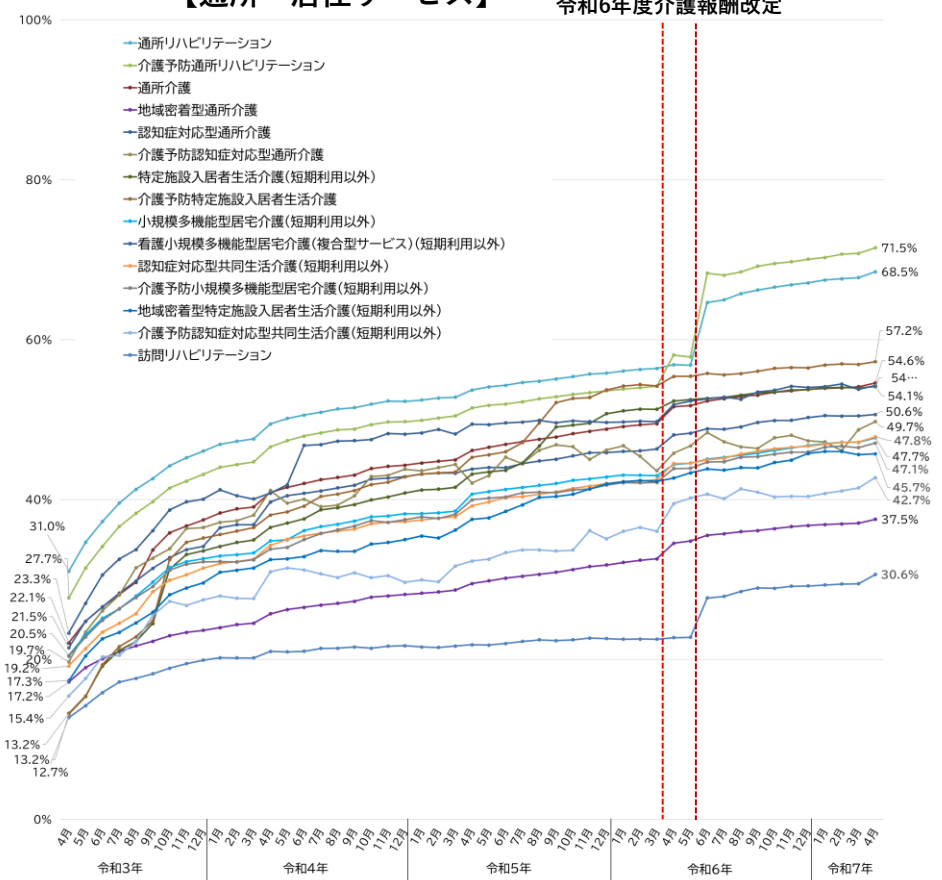
B. 介護関連DB分析

○ 令和3年4月から令和7年4月の期間において、LIFE関連加算を算定している事業所の割合を介護保険総合データベースから算出した。令和7年4月時点で、施設サービスでは、LIFE関連加算を算定している割合は介護老人保健施設で最も高く、87.3%、通所・居住系サービスは、通所リハビリテーションで最も高く68.5%（予防では71.5%）であった。また、令和6年度介護報酬改定後に通所リハビリテーションでは大きく算定事業所割合が伸び、介護老人保健施設、介護老人福祉施設でも増加がみられている。

図表28 LIFE関連加算を算定している事業所の割合【施設サービス】 令和6年度介護報酬改定



図表29 LIFE関連加算を算定している事業所の割合【通所・居住サービス】 令和6年度介護報酬改定



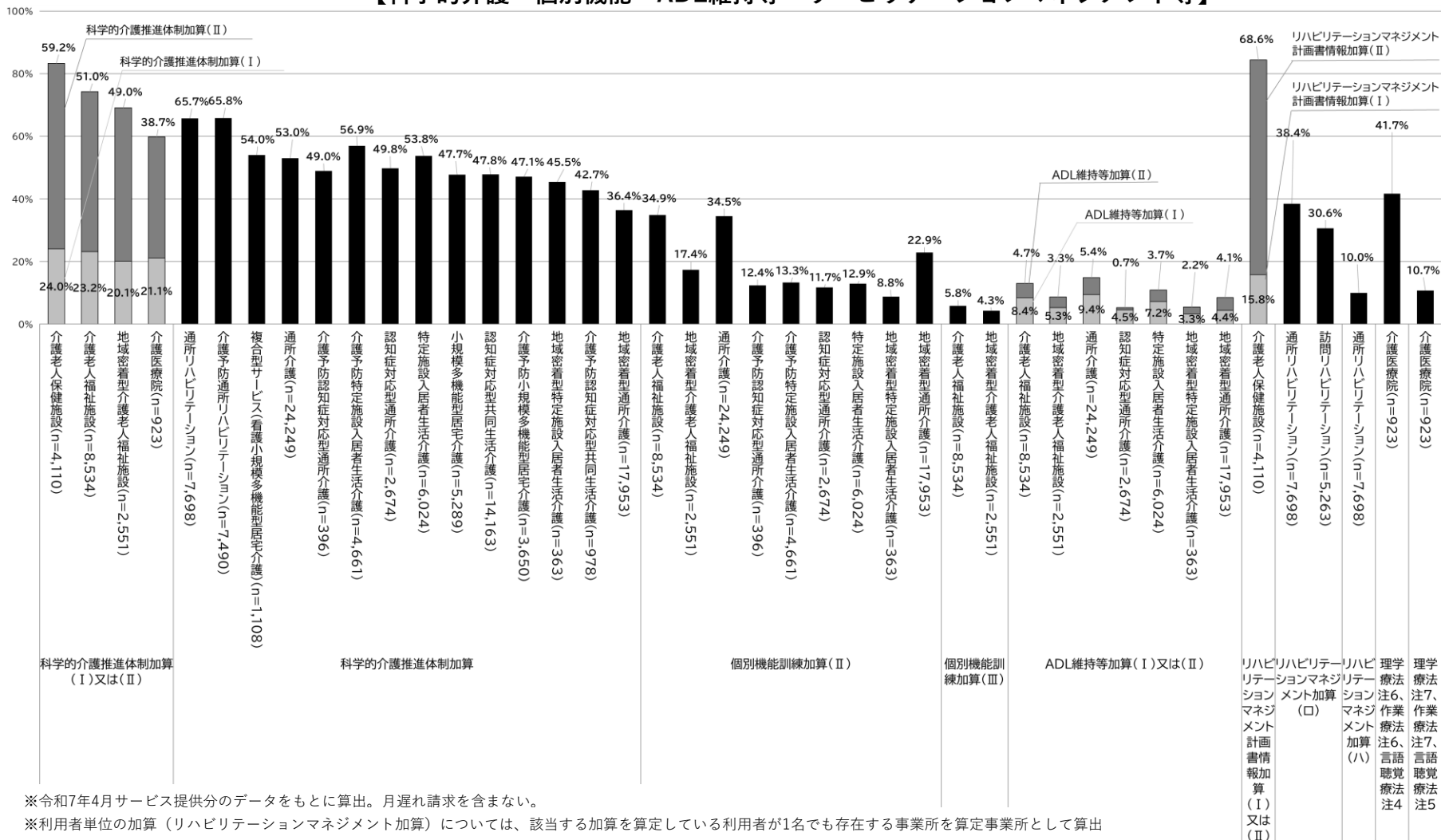
※令和3年4月～令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出。月遅れ請求を含まない。

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

- 令和7年4月において、LIFE関連加算を算定している事業所の割合を加算別・サービス別に算出した。
- 個別機能訓練加算、リハビリテーションマネジメント加算は、サービス毎の算定率差が大きかった。

図表30 LIFE関連加算を算定している事業所の割合（加算・サービス別）
【科学的介護・個別機能・ADL維持等・リハビリテーションマネジメント等】



※令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出。月遅れ請求を含まない。

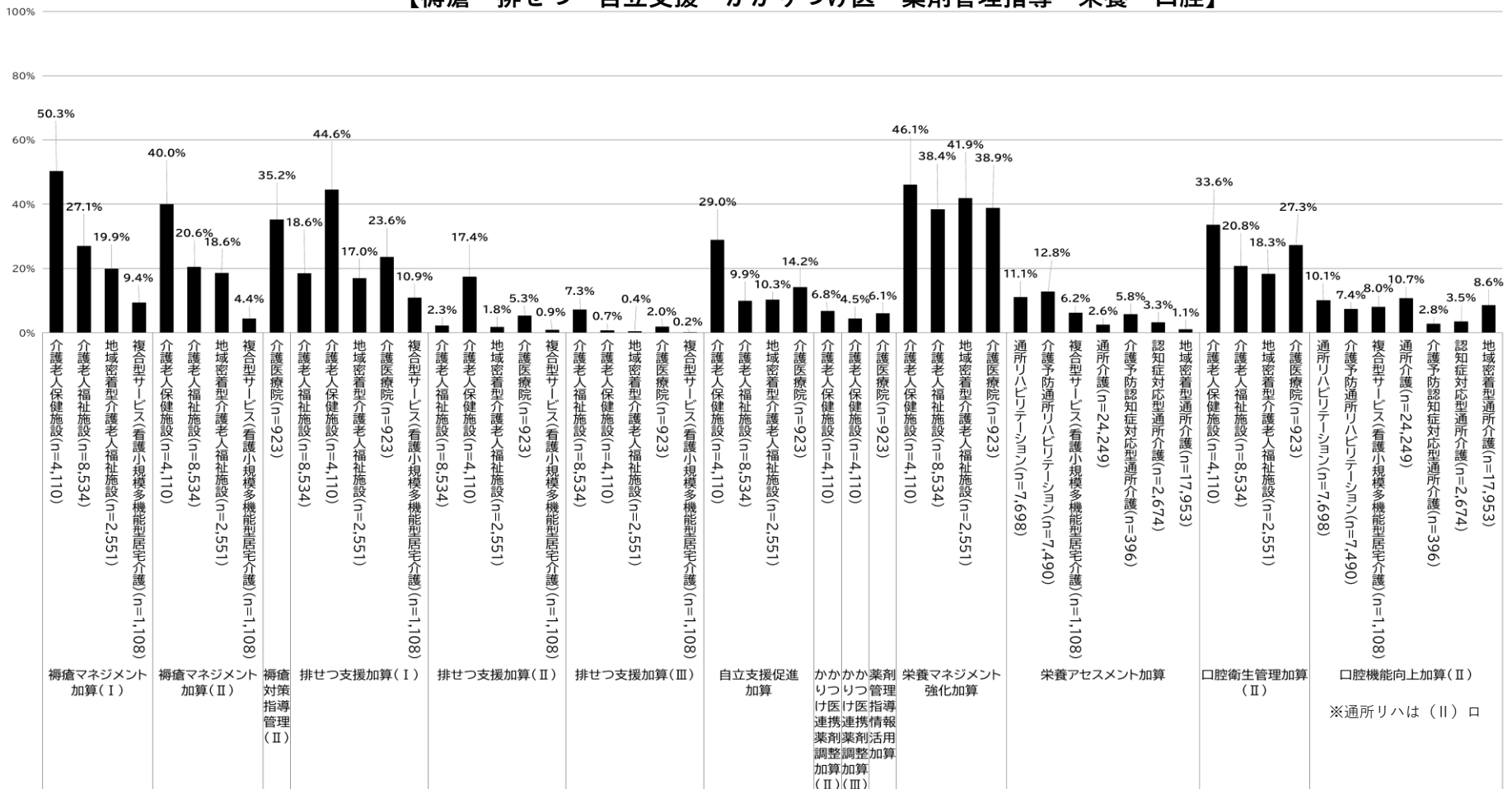
※利用者単位の加算（リハビリテーションマネジメント加算）については、該当する加算を算定している利用者が1名でも存在する事業所を算定事業所として算出

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

- 令和7年4月における、LIFE関連加算を算定している事業所の割合を加算別・サービス別に算出した。
- 栄養マネジメント強化加算、口腔機能向上加算（Ⅱ）以外の加算は比較的サービス間の差が大きく、排せつ支援加算（Ⅰ）では介護老人保健施設と介護老人福祉施設間の差は26.0ポイントと差が見られた。

図表31 LIFE関連加算を算定している事業所の割合（加算・サービス別）
 【褥瘡・排せつ・自立支援・かかりつけ医・薬剤管理指導・栄養・口腔】



※令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出。月遅れ請求を含まない。

※利用者単位の加算（褥瘡マネジメント加算、排せつ支援加算、かかりつけ医連携薬剤調整加算）については、該当する加算を算定している利用者が1名でも存在する事業所を算定事業所として算出

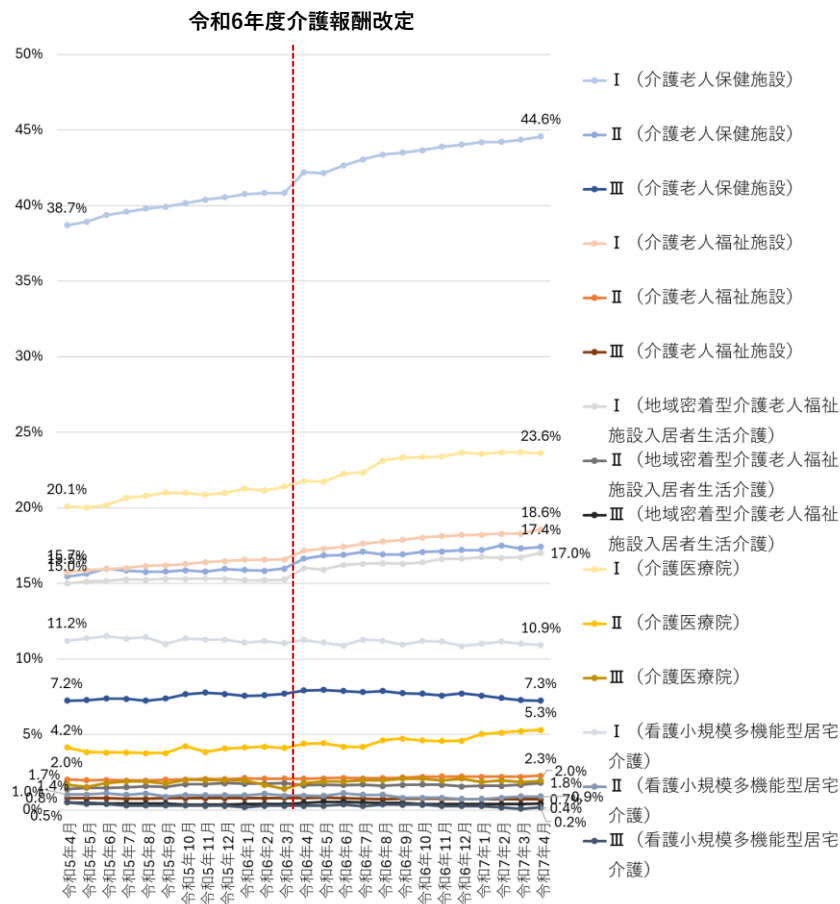
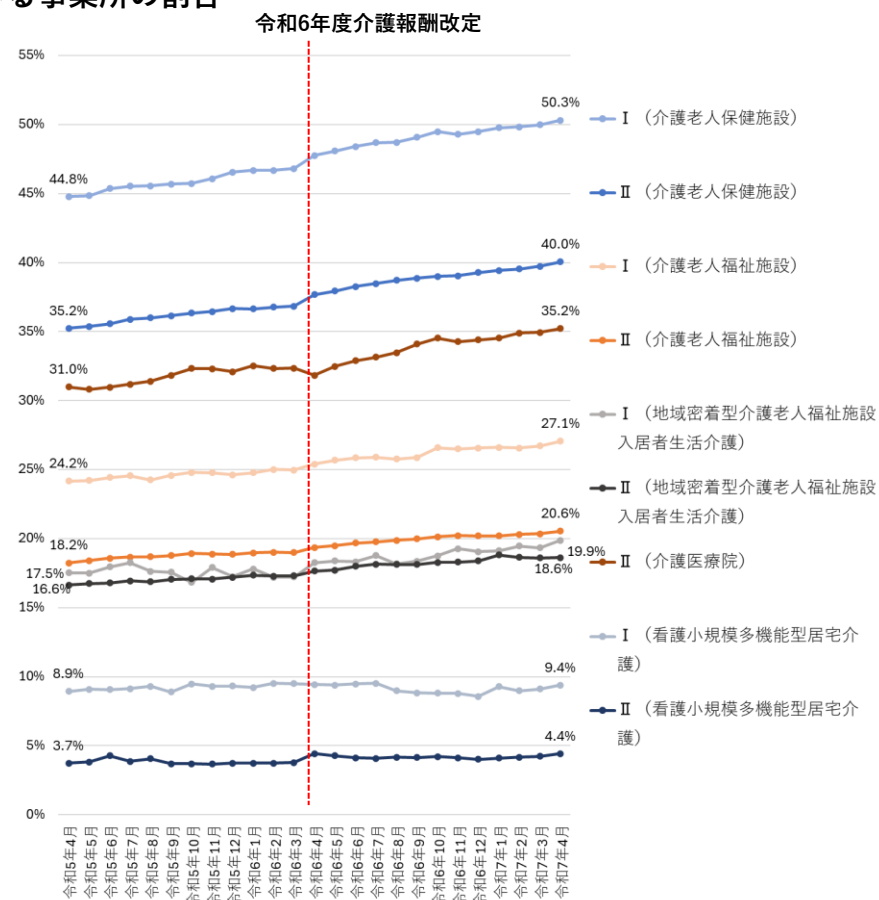
(2) 令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

- 令和6年度介護報酬改定においてLIFE関連加算の算定内容の見直しのあった加算について、当該加算を算定している事業所の割合を算出した。
- 介護老人保健施設における排せつ支援加算（Ⅰ）など、報酬改定を契機として算定率が向上しているものが見られた。

図表32 褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理を算定している事業所の割合

図表33 排せつ支援加算を算定している事業所の割合



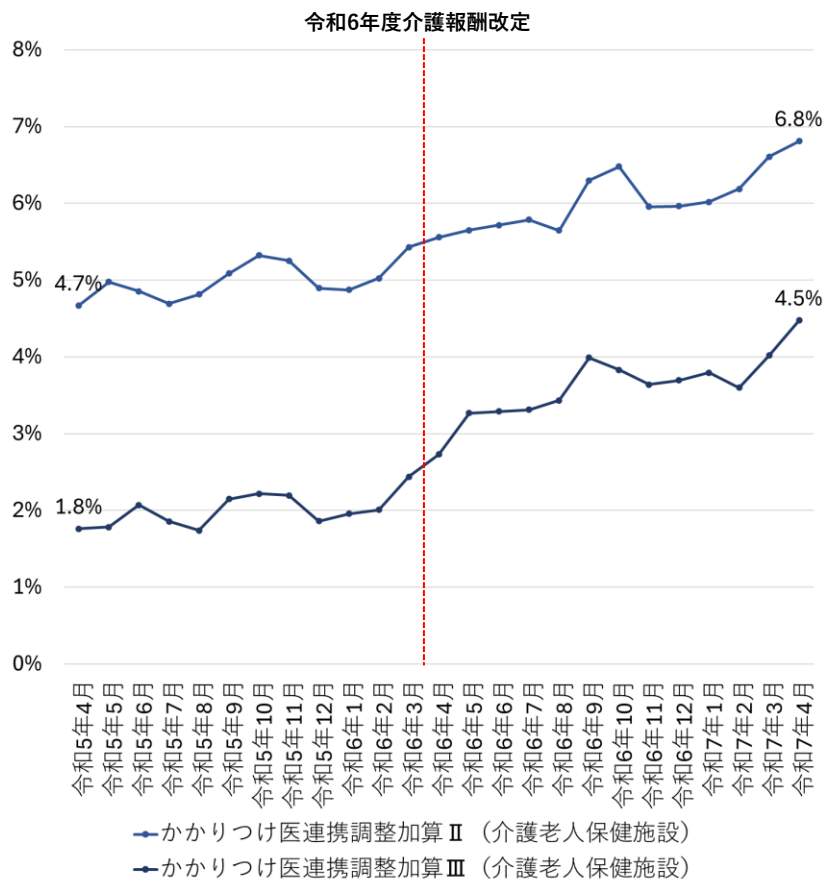
※令和5年4月～令和7年4月 サービス提供分のデータをもとに算出

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

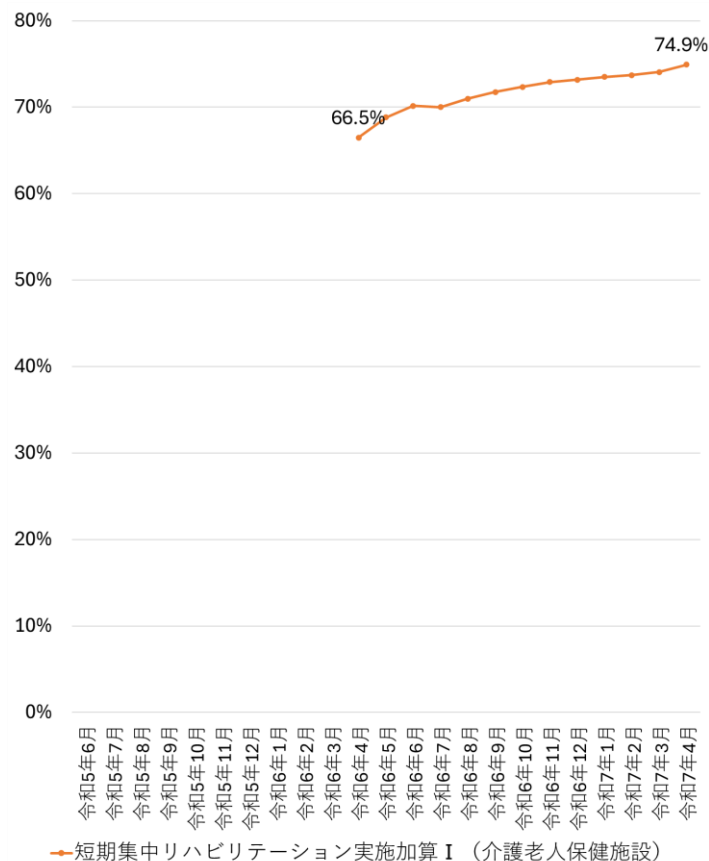
- 令和6年度介護報酬改定においてLIFE関連加算の算定内容の見直しのあった加算について、当該加算を算定している事業所の割合を算出した。
- 加算の見直しによる算定率の大幅な増加は見られないが、算定率は上昇傾向である。

図表34 かかりつけ医連携調整加算を算定している事業所の割合



※令和5年4月～令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出

図表35 短期集中リハビリテーション実施加算を算定している事業所の割合

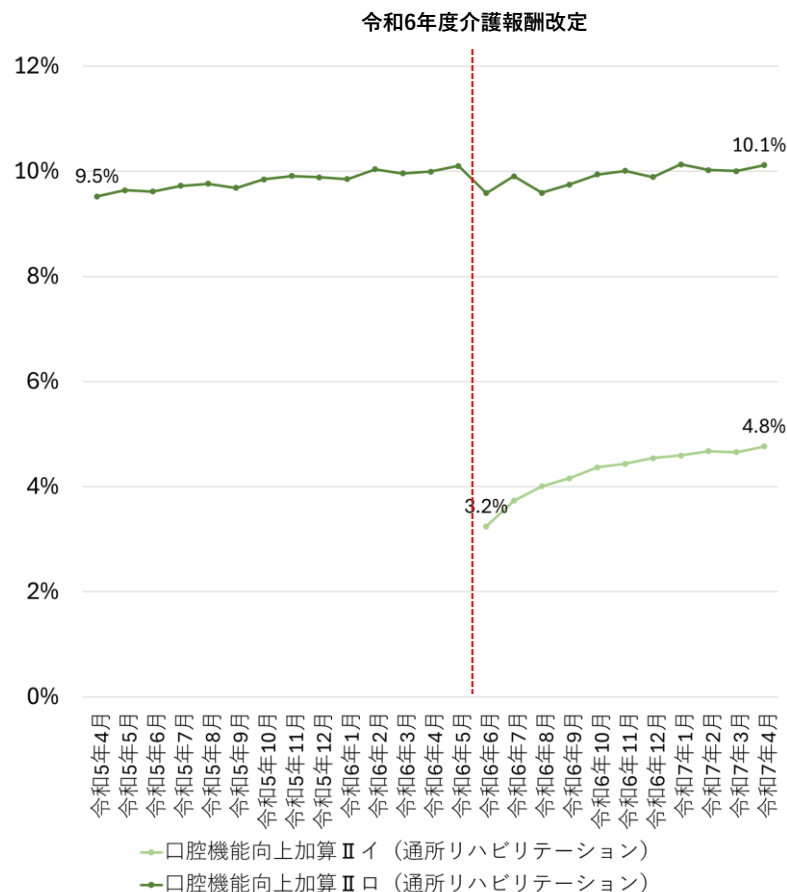


(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

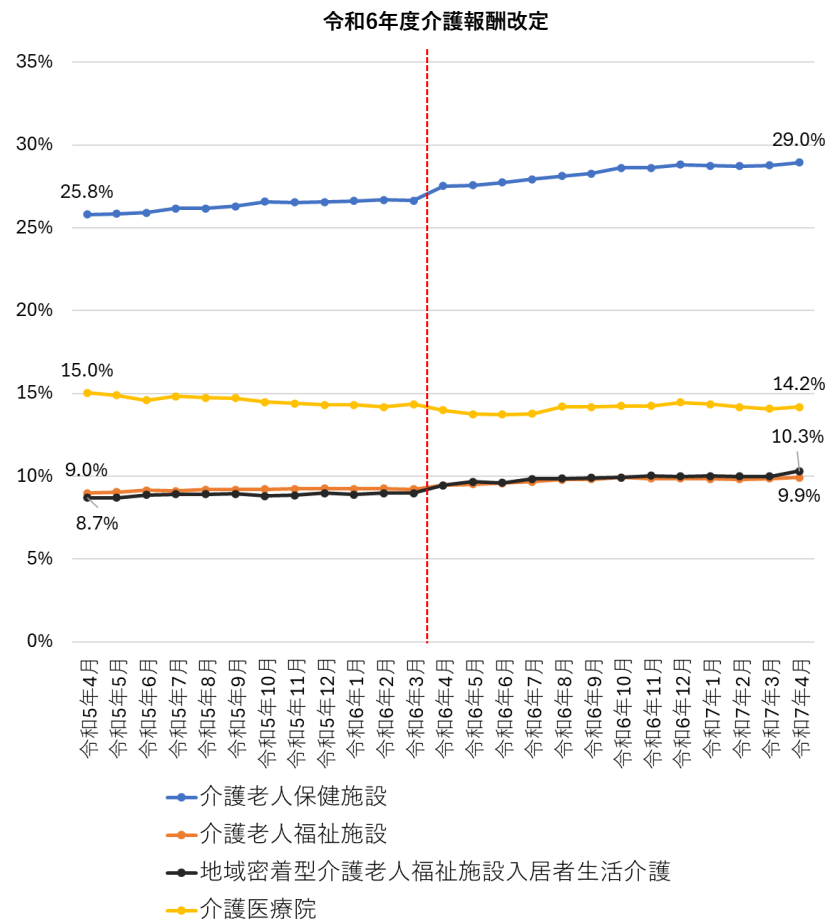
B. 介護関連DB分析

- 令和6年度介護報酬改定においてLIFE関連加算の算定内容の見直しのあった加算について、当該加算を算定している事業所の割合を算出した。
- 自立支援促進加算では、介護老人保健施設において、報酬改定によりわずかに算定率の増加がみられた。

図表36 口腔機能向上加算を算定している事業所の割合



図表37 自立支援促進加算を算定している事業所の割合



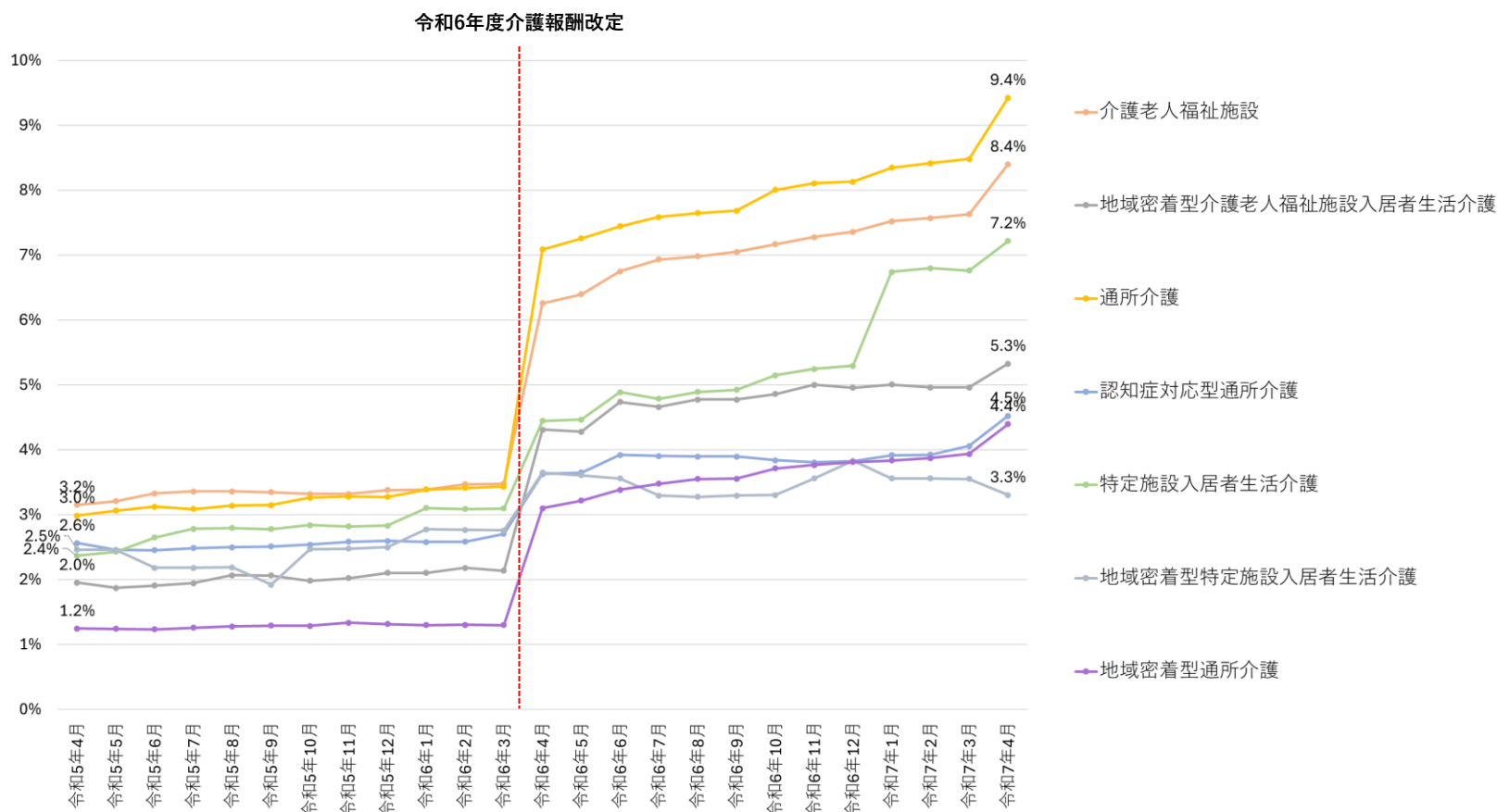
※令和5年4月～令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出

(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

- 令和6年度介護報酬改定においてLIFE関連加算の算定内容の見直しのあった加算について、当該加算を算定している事業所の割合を算出した。
- ADL維持等加算では、ADL利得の要件が変更された影響により、加算（Ⅰ）の算定率が上昇し、加算（Ⅱ）の算定率が低下した。

図表38 ADL維持等加算（Ⅰ）を算定している事業所の割合



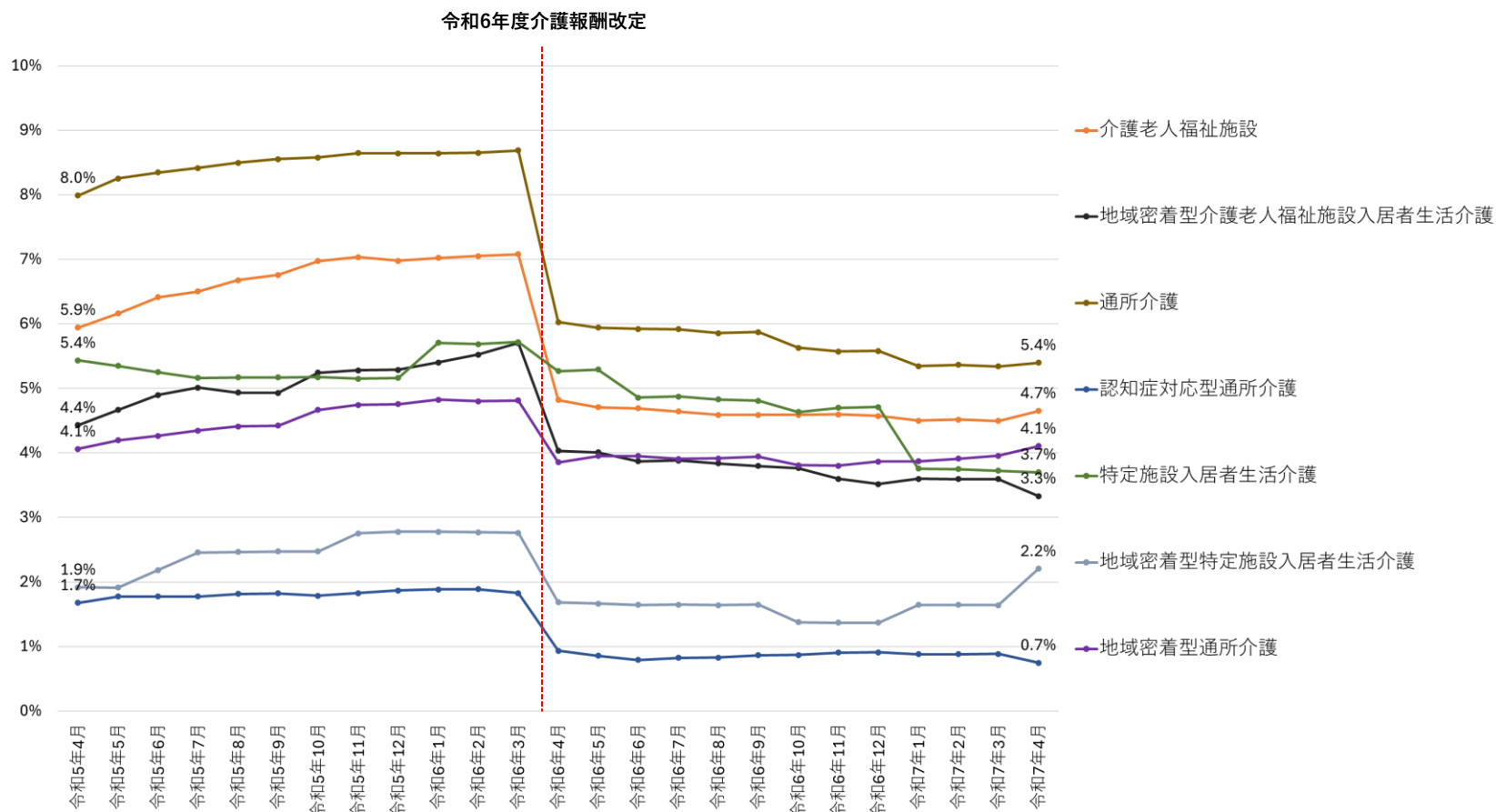
※令和5年4月～令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出

(2) 令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの見直し項目及びLIFEを活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

B. 介護関連DB分析

- 令和6年度介護報酬改定においてLIFE関連加算の算定内容の見直しのあった加算について、当該加算を算定している事業所の割合を算出した。
- ADL維持等加算では、ADL利得の要件が変更された影響により、加算（Ⅰ）の算定率が上昇し、加算（Ⅱ）の算定率が低下した。

図表39 ADL維持等加算（Ⅱ）を算定している事業所の割合



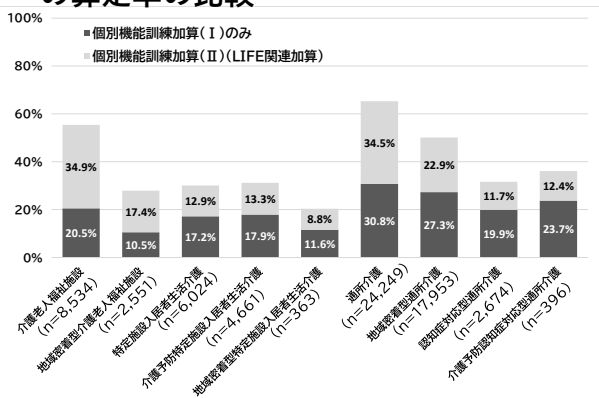
※令和5年4月～令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

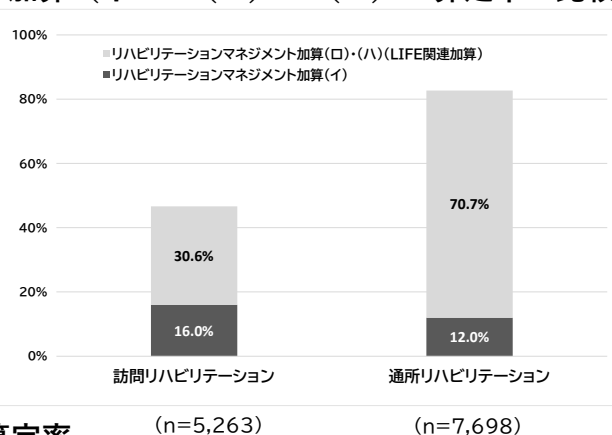
B. 介護関連DB分析

○ 各加算において、LIFE関連加算と、LIFE活用要件を除いた加算の算定率を比較した。通所介護の個別機能訓練加算では、LIFE活用要件が含まれない（Ⅰ）の算定率が対象サービス全体で65.3%であるのに対し、LIFE関連加算である（Ⅱ）の算定率が34.5%に留まっており、ほかの加算でも同様の傾向が見られるものもあった。

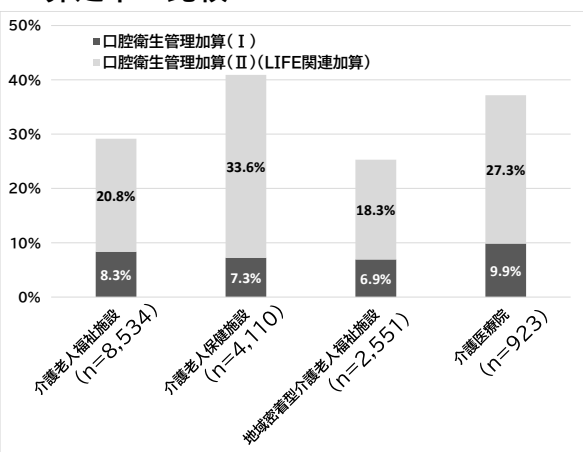
図表40 個別機能訓練加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定率の比較



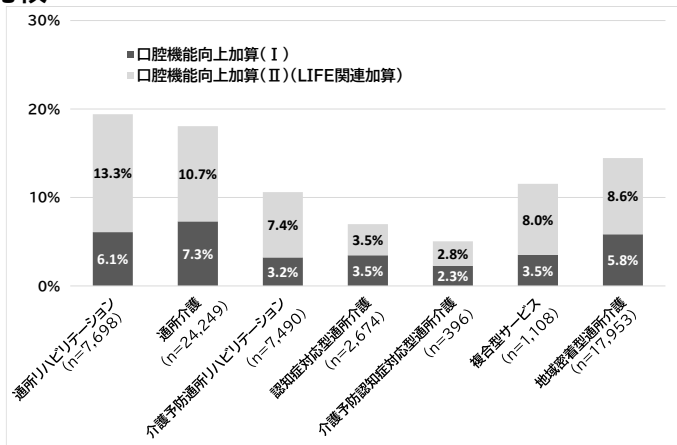
図表41 リハビリテーションマネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定率の比較



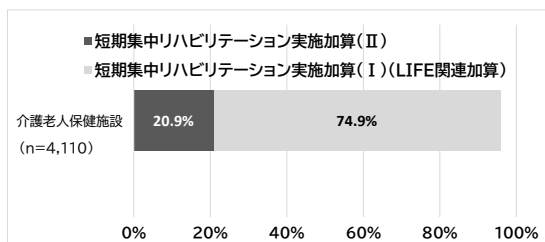
図表42 口腔衛生管理加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定率の比較



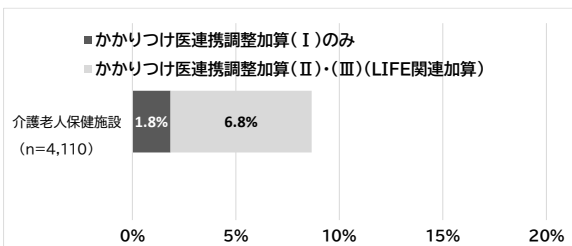
図表43 口腔機能向上加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定率の比較



図表44 短期集中リハビリテーション実施加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定率の比較



図表45 かかりつけ医連携調整加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）の算定率の比較



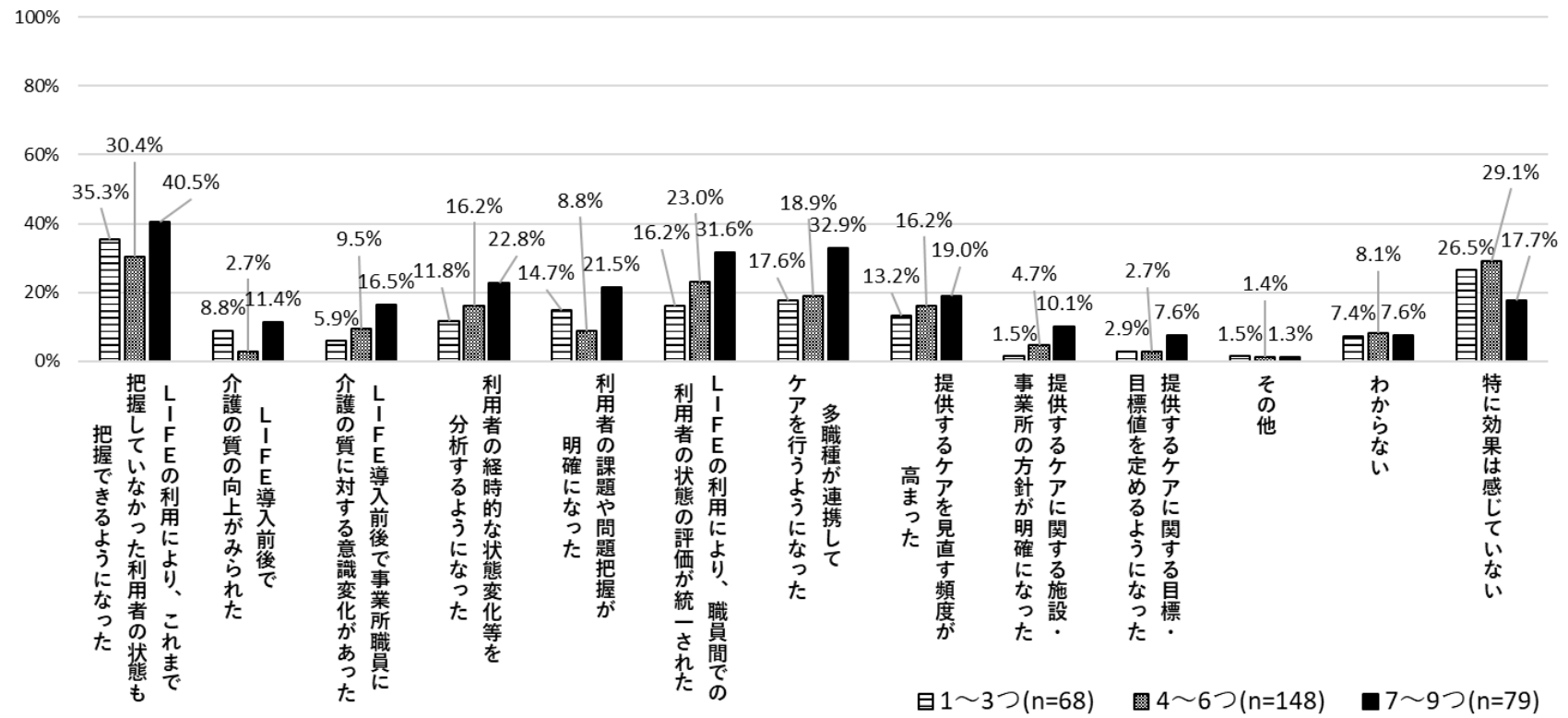
※令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出。

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A.アンケート調査（算定事業所） × B. 介護関連DB分析

- LIFE関連加算の算定個数と、LIFE導入前後での変化が見られた項目について、介護老人保健施設では「LIFEの利用により、これまで把握していなかった利用者の状態も把握できるようになった」という意見が多かった。
- また、LIFE関連加算の算定個数が多いほど、それぞれの項目でLIFE導入前後での変化が見られた割合が多い傾向があった。

図表46 LIFE関連加算の算定個数と、LIFE導入前後での変化が見られた項目（介護老人保健施設）



LIFE関連加算算定個数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
施設数	11	26	31	42	53	53	53	20	6
構成比(%)	4%	9%	11%	14%	18%	18%	18%	7%	2%

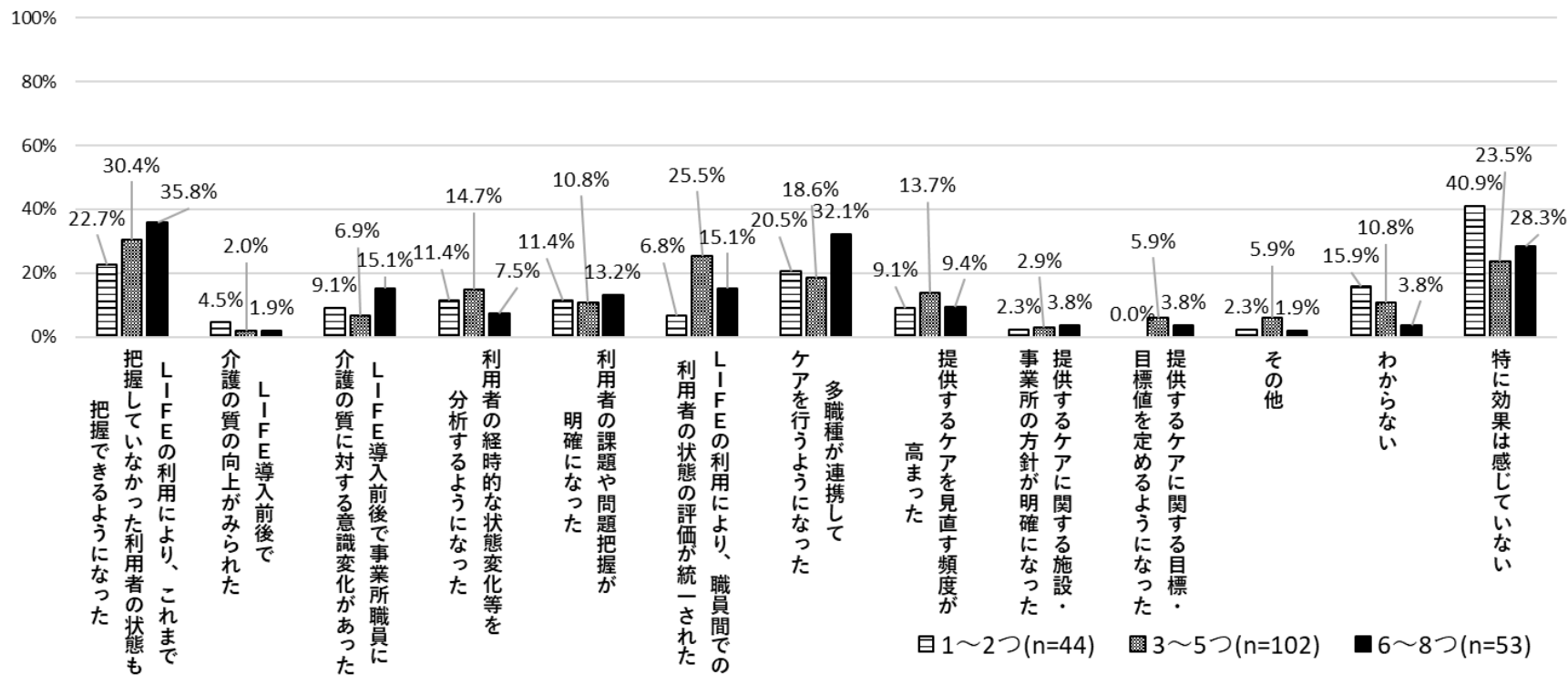
※令和7年4月サービス提供分のデータをもとに算出。

(2) .令和6年度介護報酬改定における LIFE の見直し項目及びLIFE を活用した質の高い介護の更なる推進に資する調査研究事業

A. アンケート調査（算定事業所） × B. 介護関連DB分析

- LIFE関連加算の算定個数と、LIFE導入前後での変化が見られた項目について、介護医療院では「LIFEの利用により、これまで把握していなかった利用者の状態も把握できるようになった」では算定個数が多いほど効果を感じる傾向が強かった。

図表48 LIFE関連加算の算定個数と、LIFE導入前後での変化が見られた項目（介護医療院）



LIFE関連加算算定個数	1	2	3	4	5	6	7	8
施設数	21	23	39	33	30	31	19	3
構成比(%)	11%	12%	20%	17%	15%	16%	10%	2%